

# 会 告 目 次

平成4年度第34回通常総会の開催について	2
新年度にあたって	2
平成4年度各種行事の予定について	3
研究発表会開催通知	4
第88回 データベースシステム研究会	4
第42回 ヒューマンインタフェース研究会	5
第25回 情報学基礎研究会	6
第89回 自然言語処理研究会	6
第6回 情報メディア研究会	7
第78回 コンピュータビジョン研究会	8
第55回 マルチメディア通信と分散処理研究会	8
第39回 情報システム研究会	9
第85回 ソフトウェア工学研究会	9
第27回 アルゴリズム研究会	9
第56回 グラフィクスと CAD 研究会	10
第21回 コンピュータと教育研究会	10
第82回 人工知能研究会	10
第62回 設計自動化研究会	11
第7回 プログラミング—言語・基礎・実践—研究会	11
研究報告の頒布について	14
平成4年度研究会のお知らせ	16
研究発表会開催予定(1992年4月~1993年3月)	18
情報処理学会第45回 全国大会実施要領	22
本会協賛等の行事案内	26
「連続セミナー 92」の開催について	29
「1992年並列処理シンポジウム JSPP '92」開催について	31
情報処理学会論文誌「マルチメディア通信と分散処理」特集号への論文投稿のすすめ	35
「並列アルゴリズムと並列アーキテクチャ—理論と実際」チュートリアル開催について	37
夏のプログラミングシンポジウムのお知らせ	39
「DA シンポジウム '92」論文募集	40
学会誌送本先の住所等の変更届について	40
論文誌・欧文誌の新規購読のすすめ	40
新入会員勧誘のお願い	40
「グラフィクスと CAD」シンポジウム論文募集	41
「コンピュータシステム・シンポジウム」の論文募集	42
第12回 世界コンピュータ会議出席のすすめ	43
IFIP CONGRESS '92 CONFERENCE ANNOUNCEMENT	44
WORKSHOP AIFIPP 92	46
IMSA '92 INTERNATIONAL WORKSHOP ON REFLECTION AND META-LEVEL ARCHITECTURE	47
ACM, IEEE-CS 入会の特典	48
情報処理学会シンポジウム、講習会論文集リスト	49
支部だより	50
会議案内	52
教官募集	54
雑 報	55
編 集 室	56

## 平成4年度第34回通常総会の開催について

平成4年度通常総会を下記によって開催いたします。ぜひご出席ください。なお、総会の案内状は、正会員各位に4月下旬別途郵送いたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

### 記

日 時	平成4年5月21日(木) 16:00~17:40
会 場	機械振興会館ホール(地下2階)
総会次第	1. 会長のあいさつ 2. 平成3年度事業報告および決算報告 3. 平成4年度事業計画および予算審議 4. 名誉会員の推挙 5. 平成3年度功績賞の発表と表彰 6. 平成3年度論文賞の発表と表彰 7. 平成3年度 Best Author 賞の発表と表彰 8. 新役員の選定 9. その他

なお、総会終了後ささやかな懇親パーティ(無料)を行います(会場6階66号室)。  
会員が一堂に会し、直接にお話しできる得難い機会ですので、皆さまのご出席をお待ちしております。

## 新年度にあたって(お願い)

新年度にあたって、会員の皆さまに会費等の納入のお願いとともに、つぎの点につきご確認いただき、あわせてご協力のほどお願いいたします。

### (1) 平成4年度の会費および論文誌・欧文誌購読費の納入

1月中旬に会員個々に納付書(郵便振替用紙)を送付いたしましたので、未納の方は早急にご納入ください。また、預金口座振替の会員は3月27日(金)に自動振替いたしました。振替未済の方は会員係へお問合せください。

なお、平成5年度会費から預金口座自動振替を希望する正会員(一括扱いの会員は除く)は、所定の預金口座振替依頼書(学会会員係へお問合せください)によりお申込みください。

### (2) 大学学部卒業予定の学生会員の会費

本年3月卒業予定の学生会員には、平成4年度会費は正会員(9,600円)として請求いたしました。ただし、大学院修士課程に進まれる方は、学生会員として継続できますので、会員番号を付し、大学院名・研究科名・専攻名・修了予定年月および学会誌の送本先を変更する場合はその宛先等をご連絡ください。

### (3) 退 会

書面(様式任意、はがき可)にてお申出ください。なお、3年度会費が未納の場合には、昨年4月以降送本した学会誌を会費月割りで精算のうえ請求いたします。

また、3年度会費未納者には、これまで再三にわたり請求いたしております。納入いただけない場合には、本学会から除名することがありますので、ご承知ください。

## 平成4年度各種行事の予定について

4月以降の主な行事予定は以下のとおりです。詳細は順次本欄にてお知らせします。なお、期日・会場が変更されることもありますので、ご注意ください。

行 事	期 日	会 場
第34回 通常総会	5・21 (木)	機械振興会館
第45回 全国大会	10・11 (日)～14 (水)	徳島大学教養部
第46回 全国大会	平成5年 3・23 (火)～26 (金)	工学院大学 (新宿)
平成4年電気・情報関連学会連合大会 (共催)	9・9 (水)～10 (木)	芝浦工業大学
~~~~~		
(シンポジウム)		
1992 並列処理	6・15 (月)～17 (水)	パシフィコ横浜
ソフトウェア再利用技術	6・30 (火)～7・1 (水)	機械振興会館
画像の認識・理解	7・16 (木)～18 (土)	かでの 27 (札幌市)
第25回 情報科学若手の会	(未 定)	北海道
夏のシンポジウム	7・21 (火)～23 (木)	NTT 軽井沢八風山荘
DA シンポジウム '92	8・27 (木)～29 (土)	南風荘 (蒲郡市)
グラフィクスと CAD	9・24 (木)～25 (金)	機械振興会館
メディアと情報処理	10・1 (木)～2 (金)	機械振興会館
コンピュータシステム	10・27 (火)～28 (水)	機械振興会館
アドバンスト・データベース・システム	12・8 (火)～9 (水)	機械振興会館
第34回 プログラミング・シンポジウム	平成5年 1・12 (火)～14 (木)	ホテル小涌園 (箱根)
分散処理ワークショップ	平成5年 3・3 (水)～5 (金)	湯布院 (大分)
(連続セミナー)		
ダウンサイジングとオープン化課題	5・22 (金)	工学院大学 (新宿)
マルチメディアコンピューティング課題	7・23 (木)	" ( " )
パソコンの新入力方式のインパクト	9・10 (木)	" ( " )
オブジェクト指向アプリケーションをとりまく環境	11・19 (木)	" ( " )
分散コンピューティングの進展	平成5年 1・21 (木)	" ( " )
硬柔技術限界予測	平成5年 3・11 (木)	" ( " )
(講習会)		
並列アルゴリズムと並列アーキテクチャ理論と実践	6・18 (木)	機械振興会館
情報処理教育の実践と研究	11・6 (金)～7 (土)	エステック情報ビル (新宿)
ゲーベジ・コレクション	11・16 (月)	機械振興会館
アドバンスト・データベース・システム	12・7 (月)	機械振興会館
分散コンピューティング	平成5年 1・22 (金)	(未 定)
情報システムの計画と設計	(未 定)	(未 定)
事例ベース推定	(未 定)	(未 定)
(共 催)		
第23回 画像工学コンファレンス		
情報学シンポジウム—オブジェクト指向と利用者インタフェース	平成5年 1・13 (水)～14 (木)	日本学術会議講堂
(国際会議共催)		
The 12th Int'l. Conf. on Distributed Computing Systems	6・9 (火)～12 (金)	横浜国際平和会議場
PROLAMAT '92	6・24 (水)～26 (金)	虎の門パストラル
The Int'l. Symposium on Autonomous Decentralized System	1993年3・30 (火)～4・1 (木)	日立システムプラザ新川崎

## 研究発表会開催通知

(平成4年4月15日～5月31日)

研究会	日	時	会場	備考
データベースシステム	5月8日(金)	10:30～17:00	筑波大	下記参照
ヒューマンインタフェース	5月11日(月) 5月12日(火)	9:30～17:30 9:30～16:50	東大	同上
情報学基礎	5月12日(火)	10:00～17:00	機械振興会館	同上
自然言語処理	5月14日(木) 5月15日(金)	13:15～17:30 10:00～15:00	九工大	同上
情報メディア	5月15日(金)	9:30～17:00	東京工大	同上
コンピュータビジョン	5月15日(金)	10:00～14:30	名工大	同上
マルチメディア通信と分散処理	5月15日(金)	10:00～16:45	機械振興会館	同上
情報システム	5月19日(火)	12:30～17:00	同上	同上
ソフトウェア工学	5月21日(木)	10:30～17:10	日電(本社)	同上
アルゴリズム	5月21日(木)	13:00～16:45	慶大(藤沢)	同上
グラフィクスとCAD	5月22日(金)	13:30～17:30	慶大(日吉)	同上
コンピュータと教育	5月22日(金)	14:00～17:00	機械振興会館	同上
人工知能	5月26日(火)	13:30～16:40	同上	同上
設計自動化	5月28日(木) 5月29日(金)	次号参照	農協会館 (長崎)	同上
プログラミング—言語・基礎・実践—	5月29日(金)	10:00～15:45	岡山大	同上

### ◆ 第88回 データベースシステム研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 増永良文, 幹事: 北川博之, 田中克己, 鶴岡邦敏)

日時 平成4年5月8日(金) 10:30～17:00

会場 筑波大学 大学会館 特別会議室

〔つくば市天王台 1-1-1, 東京駅(八重洲口)より常磐高速バス(つくばセンター行): つくばセンター下車(約60分), バス(筑波大学中央行): 大学会館前下車(約10分), または JR(常磐線): 荒川沖下車, バス(筑波大学中央行): 大学会館前下車(約35分), Tel. 0298(53)2034(大学会館受付)〕

#### 議題

—10:30～12:00—

(1) ベクトル計算機上でのデータベース演算の実現 目木信太郎, 上林弥彦(京大)

〔概要〕 ベクトル計算機上の主記憶データベース向きの実現手法とそれらを実際に実現して得られた結果,

(2) 部分的な主記憶データベースシステムにおけるトランザクション処理能力の評価

高倉弘喜, 上林弥彦(京大)

〔概要〕 よく使われるデータのみを主記憶に常駐させたシステムにおけるデータ処理能力について評価を行う。

—13:00～17:00—

#### 特集: EDI とデータベース

(3) EDI とデータモデル機能標準化 穂鷹良介(筑波大)

〔概要〕 EDI で扱っているデータをデータモデル機能標準化の観点から見るとどのように考えるべきかの試案。

- (4) 概念辞書と EDI 玉川義人 (筑波大)  
〔概要〕 各業界で考えられている EDI データ項目を統合するためのオブジェクト指向概念辞書に関する所見。
- (5) 企業情報システムにおける EDI とデータベースの連動 三木良治 (JIPDEC)  
〔概要〕 独立な体系として確立されている EDI とデータベースの連動を実現する AP の構築について。
- (6) EDI と共生 福田 豊 (電通大)  
〔概要〕 社会における共生 (symbiosis) 現象の具体的なありようとも考えられる EDI の意義と広がりについて。
- (7) EIAJ (日本電子機械工業会) におけるビジネスプロトコルの標準化と電子データ交換について 大石通朗 (TDK)  
〔概要〕 EDI による資材調達にかかわる業務の合理化、普及を目指し標準の制定を実施したことについて。

## ◆ 第 42 回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数: 19 件)

(主査: 安西祐一郎, 幹事: 井関 治, 小川克彦, 廣瀬通孝)

日 時 平成 4 年 5 月 11 日 (月) 9:30~17:30  
12 日 (火) 9:30~16:50

会 場 東京大学 山上会館 大会議室

(東京都文京区本郷 7-3-1, 地下鉄 (丸の内線): 本郷 3 丁目下車, 徒歩 7 分. Tel. 03 (3812) 2111 内 2320)

## 議 題 特集: 人工現実感

人工現実感 (Artificial Reality/Virtual Reality) という概念が生まれ、人間の動作をコンピュータに入力したり、コンピュータグラフィック画面の中に自分が入りこんだような感覚を作り出すことが可能になり、人間と計算機が一層多様な方法で会話することが可能になってきました。また、それに伴いサイバネティックインタフェースとも呼ばれる従来とはかなり異なったインタフェース・デバイスが開発されつつあります。

人工現実感が今後大きく発展するためには、計測制御技術、エレクトロニクス、通信、情報処理、メカトロニクスなどの技術を背景に、ロボット工学、コンピュータ工学、三次元画像工学、生体生理工学、心理物理学、認知科学などの分野の密接な協力が必要です。

本研究会は、このような動向に鑑み、研究を相互に深め合う場となるように企画しておりますので広い分野からの研究者・技術者・ユーザの参加を期待します。

5 月 11 日 (月) —9:30~12:10—

- (1) 両眼視 3 次元表示における “隠し味” 出澤正徳 (理研)  
(2) 眼の三次元アニメーション表示と視線一致 岸野文郎, 森井精啓, 佐藤隆宣, 鉄谷信二 (ATR)  
(3) 空間認知に影響を与える因子について 廣瀬通孝, 横山賢介, 及川道雄, 一丸丈巖 (東大)  
(4) 人工現実感における触覚ディスプレイのための心理物理的研究  
井野秀一, 細江文弘, 泉 隆, 高橋 誠, 伊福部達, 木村廣文 (北大)

—13:10~17:30—

- (5) ScopeHand を用いた走査形空間撮像方式 鈴木 元, 岡田敦嗣, 河野隆志 (NTT)  
(6) ScopeHand を用いた SharedDesk の検討 河野隆志, 岡田敦嗣, 鈴木 元 (NTT)  
(7) 3 次元形状のインタラクティブな呈示方法について 亀山研一, 大富浩一 (東芝)  
(8) 視覚と触覚・力覚の協調動作での課題 福井幸男, 赤松幹之, 下条 誠 (製科研)  
(9) 広可動範囲フォースディスプレイの開発 岩田洋夫, 中川隆志, 矢野博明 (筑波大)  
(10) モータ駆動による力覚制御能力をもつ空間インタフェース装置の提案

平田幸広, 猿渡基裕, 佐藤 誠 (東工大)

5 月 12 日 (火) —9:30~12:10—

- (11) 第四世代言語とグラフィックユーザインタフェース  
上田 穰 (日本ウェブフロント), 藤田喜彦 (CSK), 國井利泰 (東大)  
(12) 人工現実感用シェル PLOTS の開発 三輪道雄 (松下電器)  
(13) 仮想作業空間における 3 次元形状操作ツールの実現 平池龍一, 篠原克也 (日電)  
(14) 実時間手画像認識の仮想空間操作への応用 石淵耕一, 竹村治雄, 岸野文郎 (ATR)

—13:10~16:50—

- (15) ユーザ適応型筋電マニピュレーション技術 —Cyber Finger: Data Glove の次にくるもの—  
平岩 明, 内田典佳, 下原勝憲 (NTT)  
(16) テレ・マシニングにおける操作システムの研究 光石 衛, 東豊一郎, 割澤伸一 (東大)  
(17) 人工現実感技術の宇宙ロボットへの応用 吉江勇貴, 村山茂樹, 太田英郎 (石川島播磨重工)  
(18) 生体情報を利用した人工現実感のスポーツイメージトレーナへの応用  
上條憲一, 福住伸一, 山崎敏正 (日電)

(19) 聴覚情報を用いたテレ・マシニング・システム

光石 衛, 小林 統, 割澤伸一 (東大)

\*今回の研究会は計測自動制御学会 (ヒューマン・インタフェース部会), 電子情報通信学会 (ヒューマンコミュニケーション研究会), 日本ロボット学会 (サイバネティックインタフェース研究会) との共催で開催されます。

◆ 第25回 情報学基礎研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 細野公男, 幹事: 石塚英弘, 中川 優, 尹 博道)

日 時 平成4年5月12日(火) 10:00~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 9号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, または JR: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 渋谷-東京駅八重洲線虎の門5丁目下車. Tel. 03 (3434) 8211]

議 題 特集: 全文データベース, 検索と内容の理解

-10:00~12:15-

(1) 全文検索の技術動向とシステム事例 菊地芳秀, 小川隆一, 高橋恒介 (日電)

[概要] ソフトウェア/ハードウェアの技術動向を解説し, 検索 LSI を用いたシステム事例について述べる。

(2) 日本語全文検索の高速化手法 菊池忠一 (テレマティーク国際研)

[概要] 出現文字の属性と文字位置から作成する文字位置情報を文字種ごとに管理し検索する手法を述べる。

(3) 特別講演: A Machine Learning Approach to Automatic Pseudo-Thesaurus Construction

(口頭発表 (英語) のみ) Vijay V. Raghavan (Univ. of Southwestern Louisiana)

[概要] 情報検索を高精度化するための疑似シソーラスを自動構築する学習アルゴリズムと評価結果を述べる。

-13:00~17:00-

(4) ソフトウェアによるテキストサーチマシンの実現 畠山 敦, 浅川悟志, 加藤寛次 (日立)

[概要] 文字成分表と凝縮テキストを使った階層プリサーチ方式により高速なフルテキストサーチを実現した。

(5) 高速全文不完全一致検索システムの実現 高田 寛 (新日鉄)

[概要] 当社にて開発された全文検索システムの概要と応用例について紹介し, その可能性を考察する。

(6) SAVVY/TRS によるドキュメントデータベース 荒井敏博 (日経情報システム)

[概要] データの学習による高速全文検索システムの紹介, 及びそのアプリケーション事例を説明する。

(7) 構成要素カテゴリを用いた原著論文の内部構造分析 神門典子 (慶大)

[概要] 階層構造をもったカテゴリを設定し, 複数領域の論文においてその出現パターンを調べた。

(8) 機能語による英文科学技術文献抄録文理解

竹田正幸 (九大), 早田龍弘 (富士通), 石鞍謙一郎 (シャープ), 松尾文碩 (九大)

[概要] 原形約 1,000 語の機能語の統語・意味情報に基づく抄録文理解の研究

◆ 第89回 自然言語処理研究会

(発表件数: 12件)

(主査: 野村浩郷, 幹事: 徳永健伸, 永井秀利, 林 良彦)

日 時 平成4年5月14日(木) 13:15~17:30

15日(金) 10:00~15:00

会 場 九州工業大学 情報工学部 一般教養棟 AVホール

[飯塚市川津 680-4, JR 博多駅より篠栗線: 新飯塚下車 (または西鉄特急バス(田川・飯塚行): 飯塚バスセンター下車), 西鉄バス(2系統・九工大経由): 九工大前下車, または西鉄バス(高雄団地行): 二瀬支所下車, 徒歩 10分. Tel. 0498 (29) 7613]

議 題

5月14日(木)

(1) 文の接続パターンに基づく日本語テキスト構造の解析 田中智博, 林 良彦 (NTT)

[概要] 対象世界の特徴を反映した文タイプの接続パターンに基づくテキスト構造解析手法を提案する。

(2) 文によって表現される事態の構造について 桃内佳雄 (北海学園大)

[概要] 単文における事態の構造と複文における事態間の時間的・因果的關係構造の解析のための規則と知識。

(3) 名詞述語文からの概念学習システム — 比喩の理解と学習 —

佐々木淳一, 荒木健治, 桃内佳雄 (北海学園大)

[概要] 名詞述語文からの概念学習の枠組の中で比喩理解の手法を構築し, 評価実験を行った。

(4) 中国語文解析における文型パタンの作成とその利用について

邵 桂 鳳, 鎌田清一郎, 河口英二, 安在弘幸 (九工大)

[概要] 中国語の動詞を分類して文型パターンを 30 種類与え, それを基に中国語文解析システムについて述べる。

会 告

(5) 痕跡を扱うためのチャート方の拡張 春野雅彦, 松本裕治, 長尾 真 (京大)

〔概要〕 チャート法の拡張による解析の実行順序に左右されない痕跡処理法とその実現について述べる。

(6) 複数の LR テーブルを用いた一般化 LR パーサによる部分列解析 新納浩幸 (松下電器)

〔概要〕 開始記号の変更であらかじめ LR テーブルを複数作成し、それを用いて部分列を効率的に解析する。

5月15日 (金) —10:00~12:00—

(7) 簡易型自然言語インタフェースモデル —語彙空間と対象領域の仮想化— 有田正剛 (日電)

〔概要〕 データベースの仮想化に基づく問い合わせの解釈。

(8) 事例ベースを用いた発見的規則制御の最適化

野美山浩, 諸橋正幸 (日本 IBM), 細野公男, 原田隆史, 梅田栄廣, 関根さゆり (慶大)

〔概要〕 規則間の制御を事例ベースから計算することにより与えられた環境に対し規則系を最適化する手法。

(9) 機械翻訳の評価基準について 野村浩郷 (九工大), 井佐原均 (電総研)

〔概要〕 機械翻訳の評価を行うための問題点および基準について述べる。

—13:00~15:00—

(10) 文末表現から見た法律文の制限言語モデルについて

長野 馨, 岩本秀明, 永井秀利, 野村浩郷 (九工大)

〔概要〕 法律文の文末表現が規定する制限言語モデルについて述べる。

(11) 文書構造と図表情報の関わりに着目した文書処理について

山口仁司, 愛智宏輔, 永井秀利, 野村浩郷 (九工大)

〔概要〕 文章構造と図表情報の関わりを分析しそれによる文書処理について述べる。

(12) ANLP '92 および IWNLG '92 の報告 徳永健伸, 乾健太郎 (東工大)

〔概要〕 4月にイタリアで開催された ANLP '92 と IWNLG '92 について報告する。

\*懇親会: 14日 18:00 から行いますので多数ご参加ください。

## ◆ 第6回 情報メディア研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 相磯秀夫, 幹事: 石塚英男, 上林憲行, 田中 譲, 中川 透)

日 時 平成4年5月15日 (金) 9:30~17:00

会 場 東京工科大学

(八王子市片倉町 1404-1, JR (中央線): 八王子 (北口) 下車, バス (橋本行): 御殿峠下車 (約20分), 徒歩3分, または, JR (横浜線)・京王 (相模原線): 橋本 (北口) 下車, バス (八王子行): 自然公園前下車 (約10分), 徒歩3分, Tel. 0426 (37) 2111)

### 議 題

—9:30~12:30—

(1) 情報構造化のためのハイパーテキストプラットフォームの一提案

田丸恵理子, 柴田 清, 黒川真一 (富士ゼロックス)

〔概要〕 情報の構造化を目的としたハイパーテキストに関してデータモデルや情報共有化等の観点から考察する。

(2) 情報通有におけるコンテンツと検索 松井くにお, 吉岡 誠 (富士通)

〔概要〕 情報通有のコンテンツとして SGML ベースとすること及びその検索に有効なユーザモデルを提案する。

(3) 連続音声認識と物語理解を目指した言語処理について 重永 実 (中京大)

〔概要〕 音声を聞くのも物語を読むのも共に言語理解を目指している。筆者らのアプローチを紹介する。

(4) インタラクティブアニメーション記述言語とその処理系「AV-Script」 阪本清美, 濱田浩行 (松下電器)

〔概要〕 対話性, 並列処理, 時間制御を記述可能なオブジェクト指向言語及びその処理系の機能と実現方法。

—13:45~17:00—

(5) インタラクティブ・マルチメディア・ソフト「Alice」 前田 融 (東芝EMI)

〔概要〕 インタラクティブ・ミュージアムがコンセプトのマッキントッシュ用 CD-ROM ソフト。

(6) マルチメディア・データベース構築ツール「HAT」とその応用

矢田光治, 太田耕三 (ハイパーメディア)

〔概要〕 VR 等のマルチメディアソフトを簡単に作成するオーサリングツールとその応用について述べる。

(7) 自動車業界における CD-ROM の活用事例 平尾芳郎 (日産自動車)

〔概要〕 CD-ROM を活用した自動車用サービス部品の自動検索システムの開発, 導入について紹介する。

(8) 医用画像管理システム (PACS) の動向 佐藤一弘 (日立メディコ)

〔概要〕 医用画像管理システムの現状と動向及び技術課題について述べる。

◆ 第78回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数：5件)

(主査：杉原厚吉，幹事：井宮 淳，尺長 健，長谷川純一)

日時 平成4年5月15日(金) 10:00~14:30

会場 名古屋工業大学 図書館内会議室

[名古屋市昭和区御器所町，名古屋駅よりJR(中央線)：鶴舞(名大病院口)下車，徒歩5分，または地下鉄：鶴舞(4番出口)下車，徒歩5分，Tel. 052 (732) 2111 内 2439 (佐藤)]

議題

—10:00~12:00—

- (1) 幾何学的計算の統計解析：II. エッジ，消失点，出現点 浦澤康二，金谷健一(群馬大)
- (2) コニックの計算論と直交性の3次元解釈 金谷健一(群馬大)
- (3) 注目点を画像原点に投影させるためのカメラシステム回転角の算出法 深田陽司(三菱電機)

—13:10~14:30—

- (4) 多重スケール画像を用いた非剛体物体の動的輪郭追跡 藤村恒太(三洋電機)，横矢直和，山本利彦(電総研)
- (5) 動き画像を用いたエスカレータ乗客転倒検出手法 藤原秀人，谷口博康，黒田伸一(三菱電機)

\*同会場にて14日に電子情報通信学会(パターン認識・理解研究会)が開催されます。また，14日の夕刻より同研究会との合同懇親会を予定していますので，多数ご参加ください。

◆ 第55回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(発表件数：11件)

(主査：河岡 司，幹事：滝沢 誠，寺中勝美，水野忠則)

日時 平成4年5月15日(金) 10:00~16:45

会場 機械振興会館 地下3階 1号室(所在地は前記参照)

議題

—10:00~10:45—

- (1) ソフトウェアモジュールの再利用化を考慮したOSI 応用層ソフトウェアの実装方法 小花貞夫，杉山敬三，鈴木健二(KDD)

[概要] 各種 ASE を組み合わせて応用層ソフトウェアを実装する際の効率的な実装方式を論じる。

- (2) OSI 応用層プロトコル用 ASN. 1 ライトウェイト符号化規則の評価ツールの作成と評価 堀内浩規，小花貞夫，鈴木健二(KDD)

[概要] ライトウェイト符号化規則の評価ツールの概要と符号化/復号時間やデータ長等の評価結果を報告する。

—11:00~12:00—

特集：マルチメディア通信とヒューマンインタフェース

- (3) 対人的コミュニケーションの観点から見た通信メディアの特質に関する考察 荒木啓二郎(九大)

[概要] 対人行動としてのコミュニケーションにおける基本要素と介在するメディアの特質との関係を考察する。

- (4) 分散モードチェンジプロトコルを用いたマルチメディア統合 LAN 米田 健，市川敬史，松下 温(慶大)

[概要] タイマーとプライオリティーを用いて映像・音声・データを統合したトークンリングの提案。

—13:00~16:45—

- (5) カラードキュメントシステムにおける画像圧縮アクセラレータの試作と評価 鈴木一弘，上澤 功，吉成敏明，三宅英太，梅澤 健(富士ゼロックス)

[概要] ネットワークカラードキュメントサーバに適用する画像 CODEC を検討しその機能を検証した。

- (6) 電子掲示板相互接続手法 山上俊彦(NTT)

[概要] 既存の応用層プロトコルを利用した汎用的グループ通信モデルに基づく異機種掲示板相互接続を論ずる。

- (7) 論理式によるマルチメディア同期表現モデル 林 正薫，佐藤龍雄，岡田謙一，松下 温(慶大)

[概要] 論理式を用いて様々なメディア間の時間的な同期関係を記述する方法を提案する。

- (8) 仮想現実感のネットワーク化 篠原克也，中村暢達(日電)

[概要] 仮想世界の情報をワークステーション間で高速に通信し，同一の仮想物体への同時アクセスを防ぐ方式。

- (9) 遠隔マルチメディア・プレゼンテーション・システム 安藤史郎，中島 周，黒沢 隆(日本IBM)

[概要] LAN または ISDN で接続された WS 間でマルチメディアの発表を支援するシステムについて述べる。

- (10) 本とハイパーテキストを融合したグループ指向作業環境の実現 市村 哲，前田典彦，工藤正人，松下 温(慶大)



〔概要〕 グループ協調作業に適したハイパーテキストを設計し、そのブラウザの構築に本メタファを導入した。

(11) 分散型マルチメディアプラットフォーム Wild Card の開発

宗森 純, 吉野 孝, 長澤庸二 (鹿児島大)

〔概要〕 3次元表示ファイル, 知的生産支援, 電子会議などから構成されるシステムを開発した。

### ◆ 第39回 情報システム研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 上野 滋, 幹事: 高橋富夫, 根木公一, 初瀬川茂)

日時 平成4年5月19日(火) 12:30~17:00  
会場 機械振興会館 地下3階 1号室 (所在地は前記参照)  
議題 特集: CASE 基盤の新しい理念を求めて

—12:30~14:45—

(1) CASE ツール導入の経過と評価 荻谷雅明 (NYK)

〔概要〕 日本郵船が取り組んできた CASE 導入までの経緯とその実際について述べる。

(2) 日本航空が求める CASE 橋本省三 (日本航空)

〔概要〕 現在, 当社にて実施している「CASE 導入サーベイ」に基づき, 求める CASE 機能について述べる。

(3) 保守 CASE の要件: RESCUE をベースに 本村昭二 (ケーステクノロジー)

〔概要〕 保守作業の本質的な性格を明確にし保守のための CASE の要件と有効に活用するための環境条件。

—15:00~17:00—

(4) パネル討論: CASE を生かすためには何が必要か 司会: 堀内 一 (日立)

パネリスト: 荻谷雅明 (NYK), 橋本省三 (日本航空), 佐藤勇樹 (リクルート), 大宮正剛 (三菱重工)

### ◆ 第85回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 原田賢一, 幹事: 宇都宮公訓, 大槻 繁, 大蒔和仁)

日時 平成4年5月21日(木) 10:30~17:10  
会場 日本電気 本社ビル (NEC スーパータワー) 地下1階 多目的ホール

(東京都港区芝 5-7-1, JR: 田町, または都営地下鉄: 三田下車, 徒歩5分. Tel. 03 (3454) 1111)

議題

—10:30~11:50—

(1) エラーチェック仕様のデータモデル 米川 清 (三井情報開発), 会田邦夫 (川口短大)

〔概要〕 データおよびそのエラーチェック仕様をメタ情報として応用プログラムの負荷の著減を図る私論。

(2) 母国語プログラミングへの方式, 実践とその効果 中川正樹, 玉木裕二, 早川栄一 (農工大)

〔概要〕 母国語の使用が制限されないプログラミング環境の実現方式と実例や実験を通してのその効果の解析。

—13:00~17:10—

(3) 画像フェイリングシステム開発へのオブジェクト指向方法論の適用事例

飯島 正, 中野裕子, 吉田和樹, 本位田真一 (東芝)

〔概要〕 大規模ソフトウェアのための保守・仕様変更への対応を目指した開発方法論の事例研究。

(4) オブジェクト指向開発技法に関する一考察 —シームレス性とフェーズについて— 岸 知二 (日電)

〔概要〕 技法を実際に適用する際にフェーズをどのように捉えるべきかについて考察。

(5) 状態遷移モデルに基づくソフトウェア合成方式 平山雅之 (東芝)

〔概要〕 オブジェクト指向に基づくソフトウェア部品を状態遷移モデルを利用し合成する方式を提案・評価。

(6) ソフトウェア仕様化/設計法のデータベース化について 郭 文音, 佐伯元司 (東工大)

〔概要〕 ソフトウェア仕様化/設計法を ER モデルを用いた統一的な枠組みでデータベース化する方法の提案。

(7) 分散環境における仕様化作業とそのプロセス分割基準の検討 西村一彦, 本位田真一 (東芝)

〔概要〕 分散環境で OOA, JSD 等の既存手法による仕様化作業を効率的に行うための適切な作業分割基準の検討。

(8) 協調エージェントモデルの定式化について 大林正晴, 本位田真一 (IPA)

〔概要〕 プロセス代数を用いた協調エージェントモデルの定式化によるソフトウェアプロセスの記述について。

### ◆ 第27回 アルゴリズム研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 五十嵐善英, 幹事: 浅野哲夫, 白石洋一, 平田富夫)

日時 平成4年5月21日(木) 13:00~16:45  
会場 慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス メディアセンター AV ホール

〔藤沢市遠藤 5322, 小田急江ノ島線：湘南台（西口）下車，バス：慶応大学行（15分），または JR（東海道線）：辻堂（北口）下車，バス：慶応大学行（25分）. Tel. 0466 (47) 5111〕

議 題

- (1) 文字列と根なし木に対する線形時間パターン・マッチング・アルゴリズム 阿久津達也（機械技術研究所）  
〔概要〕 与えられた文字列が与えられた根なし木の部分木となるかどうかを判定する線形時間アルゴリズム。
- (2) 文字数が少ない場合の複数の文字列間の最長共通部分列問題 博田浩司，今井 浩（東大）  
〔概要〕  $k (k \geq 3)$  本の文字列間の最長共通部分列を文字の種類が少ない場合に効率よく求めるアルゴリズム。
- (3) 制約付き疑似乱数を用いた認証方式 山上俊彦（NTT）  
〔概要〕  $n$  ビットの中から  $m$  ビットの一致を検証することにより高価な暗号化を不要とする認証方式。
- (4) 整数計画法に関連した実数ベクトルの整数ベクトルへの丸めについて 今井 浩，大前剛志（東大）  
〔概要〕 整数計画法で内点法などを用いると実数ベクトルを整数ベクトルに丸める際の丸めについて。
- (5) An Algorithm of Constructing a Bipartite Graph from a Bipartite Graphical Sequence Set 高橋昌也（愛知技術短大）  
〔概要〕 2組（多重）グラフ的な2つの次数列からそのようなグラフをつくる線形時間アルゴリズム。
- (6) 点位置決定アルゴリズムの実際的评价 加賀美聡，浅野孝夫（上智大）  
〔概要〕 バケツ法，Edelsbrunner 法，Lee-Preparata 法，Sarnak-Tarjan 法の計算機実験。

◆ 第56回 グラフィクスと CAD 研究会

（発表件数：6件）

（主査：西原清一，幹事：宇野 栄，大野義夫，間瀬健二）

日 時 平成4年5月22日（金） 13：30～17：30

会 場 慶應義塾大学 AV ホール

〔横浜市港北区日吉 4-1-1, 東横線：日吉下車，徒歩3分。Tel. 045 (563) 1111〕

議 題

- (1) アトリウム内光環境評価の CG 技術の応用 尊田嘉之（旭硝子）  
〔概要〕 CG 技術を利用してアトリウム内の光環境を定量化するシステムの計算方法，適用例について述べる。
- (2) メッセージ駆動型シェーディングモデル作成支援システム 松井一樹（富士通），大野義夫（慶大）  
〔概要〕 シェーディングモデルをより柔軟に，人間の感性に近い形で設計できるシステムを提案する。
- (3) 3次元形状表現のための高品位白黒画像の描画法 神原 章，近藤邦雄，佐藤 尚，島田静雄（埼玉大）  
〔概要〕 線分の太さ変化制御・ドット分布制御による形状表現法について述べる。
- (4) インテリジェント自動設計システムの一実現 丁 懐 東（理研）  
〔概要〕 概念設計から工程製図までの一連の作業が高度自動化されたインテリジェントシステムについて述べる。
- (5) 不規則形状生成のためのモデリング手法 藤本忠博（三菱総研），大野義夫（慶大）  
〔概要〕 3次元空間の点の位置のみから，物体形状を表現した適切な格子網を自動生成する方法について述べる。
- (6) 情報工学実験における形状モデリング 島田静雄，近藤邦雄，佐藤 尚，黒田章裕（埼玉大）  
〔概要〕 形状モデリングのためのソフトウェアと学生に対する指導内容，テーマなどについて述べる。

◆ 第21回 コンピュータと教育研究会

（発表件数：4件）

（主査：一松 信，幹事：牧野 勝，三好和憲，矢野米雄）

日 時 平成4年5月22日（金） 14：00～17：00

会 場 機械振興会館 地下3階 9号室（所在地は前記参照）

議 題

- (1) 女子短期大学における一般的情報教育の試案データベースの適用 松田浩平，真木世之（東海大短大）
- (2) コンピュータに対する態度と情報処理教育の影響 宝剣純一郎（帝京技科大），澤田 滋（小松短大）
- (3) コンピュータ教育に関する電卓の役割 渡辺 信（東海大），一松 信（東京電機大）
- (4) 一般情報教育のカリキュラム 大岩 元（慶大）

◆ 第82回 人工知能研究会

（発表件数：5件）

（主査：石塚 満，幹事：沼尾正行，松原 仁，吉田裕之）

日 時 平成4年5月26日（火） 13：30～16：40

会 場 機械振興会館 地下3階 1号室（所在地は前記参照）

議 題

- (1) 決定木の学習による文献データの分類と日本語キーワードの抽出 榊原文，三末和男（富士通）  
〔概要〕 文献データを分類するための決定木を用いた表現方法の学習と，日本語キーワードの抽出について示す。

- (2) 論理的推論と代数的推論の融合による幾何推論 新田知明, 松山隆司 (岡山大)  
 [概要] グレブナ基底を用いた代数的推論に論理的推論による問題変換を付加した幾何推論方式を提案する。
- (3) 音声言語のためのシステムアーキテクチャの提案 奥乃 博, 岡田美智男 (NTT)  
 [概要] 出現的計算の結果として「聞き耳を立てたり, 聞き流したりできる」コンピュータの構成法を提案する。
- (4) ルールの適用順序を考慮した効率的な帰納推論手法 毛利隆夫, 田中英彦 (東大)  
 [概要] 適用順序を固定した負事例を含むルールを用いることにより, 効率的な帰納推論が行なえることを示す。
- (5) 述語論理知識を扱う仮説推論の高速最適解推論法 近藤朗子, 石塚 満 (東大)  
 [概要] 分枝限定法を基本とし, 仮説合成の回数を減らし, 高速に最適解を求める仮説推論法。

## ◆ 第62回 設計自動化研究会

(発表件数: 未定)

(主査: 上田和宏, 幹事: 川戸信明, 河村匡彦, 佐藤政生)

日 程 平成4年5月28日(木), 29日(金) 時間未定

会 場 農協会館

〔長崎市元船町3-1, 長崎農協ビル4階, 長崎空港からリムジンバス: JR長崎(約45分)下車, 徒歩3分, Tel. 0985 (25) 5600〕

議 題 テーマ: レイアウトおよび一般

\*今回の研究会は電子情報通信学会(VLSI設計技術研究会, 回路とシステム研究会, デジタル信号処理研究会)との共催で開催されます。議題等を含む最終的なプログラムは本誌5月号をご参照ください(電子情報通信学会誌は4月号掲載)。

## ◆ 第7回 プログラミング—言語・基礎・実践—研究会

(発表件数: 9件)

(主査: 安村通晃, 幹事: 久世和資, 萩谷昌己, 松岡 聡)

日 時 平成4年5月29日(金) 10:00~15:45

会 場 岡山大学 工学部 情報工学科棟3階 共同研究室

〔岡山市津島中3-1-1, JR:岡山(東口)下車, 岡電バス(17号系統(バスターミナル11番乗場)岡山大学・妙善寺行):岡大東門下車(約20分), Tel. 0862 (55) 9135〕

議 題

—10:00~12:00—

- (1) オブジェクトと場に基づいたプログラム言語とその処理系 西尾郁彦, 渡辺豊英, 杉江 徹 (名大)  
 [概要] 実体間の関係に注目しオブジェクト指向に場の概念を導入したモデルとその記述語について報告する。
- (2) 応答型並行プログラムの部分評価法 村上昌己 (岡山大)  
 [概要] 環境と相互に通信を行いながら実行を続けるプロセスを特殊化する方法について述べる。
- (3) Concurrent Object Oriented 'C' (COOC)

R. Trehan, 澤島信介, 森下 明, 友田一郎, 井上 淳, 前田賢一 (東芝)

[概要] C言語をベースにした並行オブジェクト指向言語の設計と実装について。

- (4) 並行論理型言語におけるメタインタプリタの一構成法 村上昌己 (岡山大)  
 [概要] プログラム節の集合を起動中のプロセスで表現するメタインタプリタの構成法について述べる。

—13:00~15:45—

- (5) 関数プログラムの等号形式を含む論理プログラムの意味論 広 朋之, 山崎 進 (岡山大)  
 [概要] 関数プログラムの等号形式を評価するデータフローを基に等号形式を含む論理プログラムの意味を扱う。
- (6) オブジェクト指向プログラミングから一般化論理プログラムへの変換 渡辺慎哉, 赤間 清, 宮本衛市 (北大)  
 [概要] 標記プログラムの変換系を作成し, オブジェクト指向概念の理論的把握を試みる。
- (7) Minimal Model Semantics of Generalized Logic Programs 赤間 清 (北大)  
 [概要] モデルとはいったい何か? モデルの概念を適切に拡張すれば, 論理学の新たな展開が可能になる。
- (8) 代数的仕様の下での帰納的推論 鈴木大介 (東大), 萩谷昌己 (京大)  
 [概要] 原始型を代数的仕様で表現し条件分岐によってプログラムを記述する関数型言語の入出力例による推論。
- (9) テキスト・エディタ上の証明チェック 萩谷昌己 (京大)  
 [概要] GNU Emacs 上に Calculus of Constructions の証明チェックを開発した。

## ◆ データベースシステム研究会

### 「北の国から」データベースワークショップ研究発表・参加募集

2年に一度、北の国・北海道からのデータベースワークショップのご案内です。今年は以下のような趣向を凝らします。皆様奮ってお集まりください。

日時 平成4年7月22日(水)13:00～24日(金)15:00

会場 ホテル札幌ガーデンパレス

議題 テーマ：データベース2001年に向けて 今後10年、何を研究・開発すべきか

#### ●特別企画：グループ別討論

標記テーマのもとに全員参加の作業を行います。各自、大事だと思うテーマをまず挙げてもらいます。次いで、テーマを絞り込みます。その後、参加者はテーマごとに分かれて、本当に何を研究・開発しないといけないのかグループ別に討論します。最終日に、その結果を発表してもらいます。この作業を通して、今後の動向、課題を的確につかむことが出来ればと思います。この作業をやり多いものにするために、産学、理論・実践、職業人・院生などさまざまなバックグラウンドを持った人々の参加を呼びかけます。このためのポジションペーパーをお持ちの方は増永(下記)宛6月末日までにどしどしお送りください。

#### ●研究発表会

上記の趣旨に則り次の2つのタイプの研究発表を予定しています。

I. 萌芽的研究発表：完成した研究結果ではなくアイデア、第一報のような発表です。発表15分、質疑応答15分(予定)。原稿6枚以内。

II. 正規研究発表：一応体裁の整った研究発表です。発表25分、質疑応答15分(予定)。原稿10枚以内。

発表申込方法 上記のどちらのタイプの発表かを明記の上、研究会発表申込書(本欄末添付)にて5月6日(水)までに学会事務局研究会係宛お申込みください。

参加方法 事前に下記の連絡先へ参加の旨ご一報ください。(宿泊ご希望の方、至急千葉正喜に連絡願います。)

連絡先 305 つくば市春日1-2 図書館情報大学 図書館情報学部 増永良文

Tel. 0298 (52) 0511 FAX 0298 (52) 4326

069 江別市文京台11 札幌学院大学 千葉正喜 Tel. 011 (386) 8111 FAX 011 (386) 8113

\*本研究会は、電子情報通信学会(データ工学研究会)との共催で開催されます。

## ◆ ソフトウェア工学研究会

第86回研究会の発表を下記のとおり募集します。

日程 平成4年7月20日(月)・21日(火)

会場 中国電力(広島市)

発表申込締切 平成4年4月28日(火)

\*20日午後は計測自動制御学会(離散事象システム研究会)との共催でネット理論に関する招待講演とチュートリアルを予定しています。

## ◆ グラフィクスとCAD研究会

### 第58回 研究会「夏の集中研究集会 美術とデザイン」論文募集

CGの研究には、リアルな画像生成を追及する流れの他に、より美しい画像、あるいはよりわかりやすい画像を作るといったアプローチもあるはずですが、今回の集中研究集会では、そのうちの美しさの追及をテーマとしてしています。美しさといっても、芸術的な美しさもあれば、機能的な美しさもあります。画像だけでなく、アニメ、染織、彫刻などさまざまな分野で、CGによって美しさを創造・表現するための手法・経験を語りあえる場にしたいと考えております。

日時 平成4年8月10日(月) 13:00～18:00

11日(火) 9:00～17:00

会場 浜名湖保養所 浜名荘(宿泊費:12,000円(予定))

申込締切 平成4年5月7日(木)

申込方法 研究会発表申込書(本欄末添付)にて、学会事務局研究会係宛お申込みください。

参加者数 25名程度に限定します。(原則として全員が発表を行う)

問合せ先 田中四郎 拓殖大・工 Tel. 0426 (65) 1441 大野義夫 慶大・理工 Tel. 045 (563) 1141

- ◆ 計算機アーキテクチャ研究会
- ◆ オペレーティング・システム研究会
- ◆ 数値解析研究会
- ◆ プログラミング—言語・基礎・実践—研究会

## 発 表 論 文 募 集

「1992年 並列／分散／協調処理に関する『日向灘』 サマー・ワークショップ (SWoPP 日向灘 '92)」

上記4研究会は、「1992年 並列／分散／協調処理に関する『日向灘』 サマー・ワークショップ (SWoPP 日向灘 '92)」と題し、並列／分散／協調処理を横断的なキーワードとして、研究会を同時・連続開催いたします。

各研究会の日程、特集、担当幹事、発表申込先は下記のとおりです。発表をご希望の方は、下記の方法にてお申込みください。多数の方々のご参加をお待ちしています。

**日 程** 平成4年8月19日(水) 計算機アーキテクチャ研究会 (ARC)  
 オペレーティング・システム研究会 (OS)  
 8月20日(木) 数値解析研究会 (NA)  
 8月21日(金) プログラミング—言語・基礎・実践—研究会 (PRG)

**会 場** シーサイドホテルフェニックス (宮崎市・宮崎フェニックスグリーンランド)

各研究会特集、担当幹事、および発表申込先

- **ARC** : 並列／分散／協調システム・アーキテクチャ —実例における定量的性能評価—  
 担当・発表申込先: 村上和彰 (九大) Tel. 092 (573) 9611 内 445 FAX 092 (591) 2716  
 e-mail : swopp92-arc@etl.go.jp
- **OS** : 並列／分散／協調オペレーティング・システム  
 担当・発表申込先: 福田 晃 (九大) Tel. 092 (641) 1101 内 5404 FAX 092 (632) 5204  
 e-mail : swopp92-os@etl.go.jp
- **NA** : 並列／分散／協調処理とスーパーコンピューティング  
 担当・発表申込先: 関口智嗣 (電総研) Tel. 0298 (58) 5877 FAX 0298 (58) 5882  
 e-mail : swopp92-na@etl.go.jp
- **PRG** : 並列／分散／協調プログラミング—言語・基礎・実践—  
 担当・発表申込先: 松岡 聡 (東大) Tel. 03 (3812) 2111 内 4108 FAX 03 (5689) 4365  
 e-mail : swopp92-prg@etl.go.jp

**発表申込方法** 研究会発表申込書の様式で、発表題目、発表者名、略称所属、概要(46字以内)、発表申込者連絡先(住所、氏名、Tel、FAX、e-mail)をご記入のうえ、**発表希望研究会担当幹事宛、電子メールまたはFAX**で直接お申込みください。なお、できるだけ電子メールでお願いいたします。

**発表申込締切** 平成4年5月29日(金)(締切厳守)

**ワークショップ全体に関する問合せ先**(参加方法、ホテル宿泊等)

福田 晃 (九大) Tel. 092 (641) 1101 内 5404 FAX 092 (632) 5204

e-mail : swopp92-secretary@etl.go.jp (できるだけ電子メールでお願いいたします)。

\*電子情報通信学会、人工知能学会協賛(予定)

\*SWoPP 日向灘 '92の一環として、20日は電子情報通信学会(コンピュータシステム研究会)、21日は電子情報通信学会(人工知能と知識処理研究会)と人工知能学会(知識ベースシステム研究会)の合同研究会を同一会場にて開催いたします。発表申込等の詳細については、電子情報通信学会誌4月号をご覧ください。

### ◆ 情報学基礎研究会

当研究会では科学における情報の円滑な流通と高度利用を促進するため、データ・知識に関する基本的問題とその整備・利用に関する研究交流を目的とした研究発表会・シンポジウムを開催します。平成4年度の題目は次のとおりです。

**研 究 会** 5月—全文データベース 7月—自己組織化 9月—ゲノム 11月—意味論

**シンポジウム** H5/1月—オブジェクト指向と利用者インタフェース

論文・講演のお申込み、および参加のほど、よろしく願います。日時・場所等詳細については、本誌会告欄をご覧ください。

## 研究報告の頒布について

研究報告 (H3.4~H4.3 開催分) をお分けします。購入ご希望の方は書面にて1冊につき資料代 1,000 円、送料 (切手) 250 円を同封の上、研究会係までお申込みください。

### ◆ 第14回 音楽情報科学研究グループ研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 平田圭二, 幹事: 鈴木 孝, 増井誠生, 志村 哲)

日時 平成4年5月9日(土) 13:30~16:20

会場 電気通信大学, 西9号館 3階 AV ホール

[調布市調布ヶ丘 1-5-1, 新宿駅より京王線: 調布下車, 徒歩7分. Tel. 0424 (83) 2161]

#### 議題

- (1) 有限要素法によるバイオリン表板の振動解析 永井啓之亮 (筑波大), 田牧一郎 (川崎製鉄)
- (2) 即興演奏からのコード情報による曲想の抽出  
金森 務, 平井 宏, 堤喜代司, 弓場芳治, 新美康永 (京都工芸繊維大)
- (3) 音楽情報処理システムの構築とネットワーク技術の活用 森 光彦 (浜松職業訓練短大)
- (4) 音楽教育における作曲を支援するシステム 穴田啓樹, 伊丹 誠, 伊藤紘二 (東理大)

問合せ先 千葉健司 (富士ゼロックス) Tel. 0462 (38) 3111 内 3240 FAX 0462 (38) 7801

\*今回は音響学会 (音楽音響研究会) との共催で開催されます。

### ◆ 第3回 テクニカルコミュニケーション研究グループ研究会

(発表件数: 2 件)

(主査: 山田尚勇, 幹事: 牛島和夫, 空閑茂起, 福島敏高)

日時 平成4年5月12日(火) 13:30~17:00

会場 機械振興会館 地下3階 研修2号室 (所在地は前記参照)

#### 議題

- (1) 文書表現におけるわかりやすさの定量的評価について 高橋善文 (富士通)
- (2) ユーザ側の立場に立ったマニュアル制作に向けて 高橋 一 (NTT)

参加費 登録者 6,000 円 / 6 回, 未登録者 2,000 円 / 1 回 (年間登録は研究会場にて受付けます。)

問合せ先 福島, 杉田 (富士通) Tel. 03 (3216) 9725 FAX 03 (3215) 5987

### ◆ 「音声言語情報処理と音声入出力装置」研究グループの新設について

(主査: 中川聖一, 幹事: 新田恒雄, 小林 豊, 岡田美智男)

音声情報処理の研究は、線形予測分析と隠れマルコフモデルの確立により格段に進歩しました。今後は、音声言語モデル、音声対話が研究のターゲットになると予想されますが、もともと構文的に統制のない発話文からくる極めて ill-formed な世界を扱わざるを得ないために、新たな言語処理や知識処理技術が要求されます。

また、最近の音声研究の進歩により音声合成装置、音声認識装置が計算機や情報処理機器、民生品の入出力手段として現実味をおびてきています。このことから音声インタフェースやマルチメディアとしての音声研究が必要になってきました。

これらの問題を幅広く議論するため、上記研究グループを平成4年4月に設立し、2年間活動していくことになりました。テーマ別に年間3回程度の研究討論会を計画しています。

### ◆ 「グループウェア」研究グループの新設について

(主査: 松下 温, 幹事: 岡田謙一, 守屋康正, 山上俊彦)

80年代における高速ネットワークとパーソナルコンピューティングの進展によって、情報処理はいよいよ単体での処理から組織やタスクを志向したトータルな情報処理環境への進展を迎えようとしています。今後は技術の進歩とともに複数の利用者が相互に協力しながら作業を行うシステムへの基礎および実用両面からのアプローチが望まれます。しかし、このような総合的組織作業の支援は、人間の社会行動全般にわたる深い理解なしでは到底なしとげることとはできません。

本研究グループは、人間の協調に関して幅広い研究者の交流の場を設けるため、平成4年4月より2年間活動していくことになりました。当面は、協調行動支援基礎、会議支援、オフィス支援、組織理論および社会心理学的グルー

プアプリケーションを研究の対象とし、下記のとおり年間3回程度の研究討論会を計画しています。なお、本研究グループの成果については、本誌の報告欄等でお伝えする予定です。

#### 研究討論会開催予定

- 第1回 平成4年6月26日(金), 27日(土) 於慶應義塾大学 理工学部
- 第2回 平成4年9月11日(金) 於慶應義塾大学 理工学部
- 第3回 未定

#### ◆ 研究グループ一覧

グループ名	主査	研究グループ発表会開催予定 (H4.4.1~H5.3.31)
音楽情報科学	平田圭二	5/9(土), 6/14(日), 9/1-3(火-木), 11/12, 13(木, 金), 12月, 2月
仕様記述の効率的適用と評価	大蒔和仁	4/20(月)
システムインタフェース検証	斉藤信男	
オーディオビジュアル複合情報処理	富永英義	4/13(月), 7/17(金), 11月, 3月
テクニカルコミュニケーション	山田尚勇	5/12(火), 7/13(月), 9/14(月), 11/9(月), 1/27(水), 3/10(水)
音声言語情報と音声入出力装置	中川聖一	7/13, 14(月, 火), 10月下旬, 2月中旬
グループウェア	松下 温	6/26, 27(金, 土), 9/11(金)

\*時間等詳細につきましては本欄にてご案内いたします。

### グラフィクスとCAD研究会設立10周年記念「CG作品集」 頒布のお知らせ

グラフィクスとCAD研究会は設立10周年を記念して「CG作品集」を発刊しました。これは日本人の制作によるCG画像を公募し、100余点を収録したものです。作品はカラー印刷で、同研究会の10年の足跡を記した資料集付きで1冊5,000円で頒布中です。

申込み先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル3F (社) 情報処理学会 図書係(野寺)  
Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

### 大学等における情報処理教育のための調査研究報告書完売の お知らせ

昨年9月より標記報告書の頒布を行ってまいりましたが、平成4年2月末日をもちまして終了させていただきました。

## 平成4年度研究会のお知らせ

平成4年度は、下記のとおり20研究会で行います。

- 年間をとおして参加の場合は登録・準登録をお願いします。
- 登録されていない会員は研究会当日資料代（ページ数により4段階）をいただきます。

研究会名	主査	幹事	取り扱う研究分野の例
1 自然言語処理	●野村 浩郷	徳永 健伸 永井 秀利 林 良彦	言語理論, 言語行動, 言語資料・統計, 辞書, 形態素解析, 統語解析, 意味解析, 文脈解析, 対話, 談話理解, 音声言語, 知識表現, 機械翻訳, 情報検索, 自然言語処理ソフトウェア
2 データベースシステム	●増永 良文	北川 博之 田中 克己 鶴岡 邦敏	データモデル, DB設計, DBPL, 情報資源管理, 質問処理, トランザクション管理, DBMSアーキテクチャ, 分散型DB, 演繹DB, オブジェクト指向DB, ユーザインタフェース, マルチメディアDB, オフィスDB, エンジニアリングDB, DB高度応用
3 人工知能	●石塚 満	沼尾 正行 松原 仁 吉田 裕之	知識表現, 推論・探索, 学習, 認知モデル, ニューラルネット, 知識ベース, エキスパートシステム, ファジー理論, パターン・自然言語の理解, 知的インタフェース, 分散・協調AI, AIアーキテクチャ, その他の知能メカニズム関連研究と応用システム
4 記号処理	●竹内 郁雄	天海 良治 多田 好克 湯浦 克彦	リストなどの記号処理のアーキテクチャ, 計算モデル言語, 処理系, ゴミ集め, プログラミング技法, ツール, 応用
5 ソフトウェア工学	●原田 賢一	宇都宮 公訓 大槻 繁 大時 和仁	要求分析, プログラム設計方法, 仕様記述, プログラム図式, プログラミング方法論, 検査・検証, ツール, 開発支援環境, 再利用技術, プログラム合成管理, メトリックス, 人的要因
6 計算機アーキテクチャ	●富田 眞治	後藤 厚宏 村上 和彰 矢野 陽一	計算機システム・アーキテクチャ全般, ソフトウェア・システム(OS, コンパイラ, ツール)とのインタフェース, 並列処理アーキテクチャ, VLSIアーキテクチャ
7 オペレーティング・システム	●鈴木 則久	清水 康 清水 謙多郎 萩野 達也	1. OSの基礎 2. クライアント, サーバー, オブジェクト指向OS 3. 並列・分散処理OS 4. 計算機システムの性能評価・解析ならびに信頼性 5. OSの人間工学的設計論 6. データベースOS, マルチメディアOS, 実時間OS, 通信システムOS
8 コンピュータビジョン	●杉原 厚吉	井宮 淳 尺長 健 長谷川 純一	視覚情報処理: 画像処理, 画像理解, 物体認識, 3次元復元, ステレオ視, モーション, ロボットビジョン視覚モデル, 画像データベース, 画像プロセッサなど
9 設計自動化	●上田 和宏	川戸 信明 河村 匡彦 佐藤 政生	L S I, プリント基板, 論理装置の設計自動化に関連した分野: ハードウェア設計言語, 論理合成, シミュレーション, 設計検証, テスト容易化設計, テスト, 診断, レイアウト自動設計, 設計エキスパートシステム, CADエンジン等



研究会名	主査	幹事	取り扱う研究分野の例
10 マルチメディア通信と分散処理	•河岡 司	滝沢 誠 寺中 勝美 水野 忠則	マルチメディアによる高度情報通信ネットワークおよび分散処理システム (LAN, 広域網, 分散コンピューティング, ネットワーク管理, グループウェア, 知的通信等)
11 ヒューマン インタフェース	•安西祐一郎	井関 治 小川 克彦 廣瀬 通孝	1. 計算機システムのヒューマンインタフェース 2. 認知情報処理のモデル 3. 協調作業のインタフェース 4. マルチメディアインタフェース 5. インタフェースとコミュニケーション 6. 人工現実感 7. 文書処理方式とオフィスオートメーション
12 グラフィクスとCAD	•西原 清一	宇野 栄 大野 義夫 間瀬 健二	CGのソフトウェア・アルゴリズム・ハードウェア・EWS・インタフェース, 形状モデリング, アニメとアート, 可視化, 人工現実感, CAD/CAM, デザイン, 幾何学, 画像生成, 図面処理
13 数値解析	•福井 義成	土谷 隆 長嶋 雲兵 吉原 郁夫	1. 数値計算と数値解析 2. スーパーコンピュータによる超大型計算 3. 数学ソフトウェアの開発 4. 数式処理との結合 5. 計算機や言語への提案
14 情報システム	•上野 滋	高橋 富夫 榎木 公一 初瀬川 茂	情報システム(OIS, MIS, 情報サービスなど)の分析, 設計, 構築, 利用, 情報ニーズ, 情報・データの管理などの理論と実際, 情報システムと人間・組織社会
15 プログラミング —言語・基礎・実践—	•安村 通晃	久世 和資 秋谷 昌己 松岡 聡	1. 計算のモデルとプログラミングの基本概念 2. プログラミング言語とその設計 3. プログラミング言語の実現 4. プログラミング工程と支援環境 5. プログラミングのための新しい概念, 方法, パラダイム
16 情報学基礎	•細野 公男	石塚 英弘 中川 優 尹 博道	1. 情報の表現, 識別, 分類, 評価, 流通, 管理の手法 2. 学習と発見による大量情報の知識化, 遺伝子情報 3. 大量のマルチメディア情報, 文字情報の処理など
17 コンピュータと教育	•一松 信	牧野 勝 三好 和憲 矢野 米雄	1. 学校および企業における情報分野の専門技術者・研究者の育成, ならびにリテラシーとしての一般的情報処理教育のためのカリキュラム, 具体的指導方法, 実践例等 2. 知的CAIを含む教育における計算機応用
18 アルゴリズム	•五十嵐善英	浅野 哲夫 白石 洋一 平田 富夫	1. グラフ, ネットワーク, VLSIなどに関する離散アルゴリズム 2. 計算幾何学と計算代数学 3. 暗号, 符号などの数論的アルゴリズム 4. 確率アルゴリズム, 近似アルゴリズム 5. 並列, 分散アルゴリズム, ハードウェアアルゴリズム 6. データ構造 7. 計算の複雑さの理論
19 人文科学と コンピュータ	•杉田 繁治	及川 昭文 小沢 一雅 洪 政国	1. 人文科学, 博物館・美術館への情報処理, コンピュータの応用要素と実現技術 2. 人文科学系ユーザにとって柔軟なユーザ・インタフェースの実現要素と技術 3. 情報処理と人文科学系間での学際的協力 4. コンピュータ, 情報処理の社会的側面
20 情報メディア	•相磯 秀夫	石塚 英男 上林 憲行 田中 讓 中川 透	情報メディアの科学と工学: 1. 情報の生態系 2. メディアの電子化, 映像化, メディア機械 (仮想現実等) 3. メディアの創作, 編集, 表現, 伝達, 管理, 理解のメタファと環境

◆ 研究発表会開催予定 (1992年4月~1993年3月)

(研究会名)

(開催日・会場他)

自然言語処理	5月14日(木)・15日(金) 九工大 7月17日(金) 東工大 9月18日(金) 横浜国大 11月19日(木)・20日(金) 京大会館 1月13日(水)・14日(木) 北海学園大 3月19日(金) 国立国語研
データベースシステム	5月8日(金) 筑波大 ※Electronic Data Interchange とデータベース * 7月22日(水)~24日(金) 札幌ガーデンパレス 9月11日(金) 日電(本社) ※テキスト・ハイパメディア DB とその周辺 11月6日(金) 阪大または神戸大 ※OODB と次世代データモデル 3月22日(月) 機・B3-2
人工知能	5月26日(火) 機・B3-1 7月8日(水)~10日(金) 金沢 ワークショップ(合宿形式)ー 9月10日(木) 東芝(本社) * 11月19日(木)・20日(金) 琉球大 1月 ATR または NTT (奈良) 3月22日(月) 機 ※ (特集予定あり)
記号処理	6月12日(金) 慶大 9月18日(金) 九工大 1月22日(金) 日電(本社) 3月19日(金) NTT (武蔵野)
ソフトウェア工学	5月21日(木) 日電(本社) * 7月20日(月)・21日(火) 中国電力(広島) * 9月29日(火) 東京 * 11月10日(火) 東京 12月3日(水)・4日(金) 電総研 ※仕様記述 2月初旬 金沢 3月2日(火) 機・B3-2
計算機アーキテクチャ	6月12日(金) 富士通(川崎) 8月19日(水)~21日(金) の1日間 宮崎シーサイドホテル ーSWoPP '92ー * 10月22日(木)・23日(金) 九大 ※VLSI コンピュータ 11月下旬 地方 * 1月下旬 関西 ※機能論理設計とアーキテクチャ * 3月下旬 北海道 ※実時間処理
オペレーティング・システム	6月8日(月) 機・B3-1 8月19日(水)~21日(金) の1日間 宮崎シーサイドホテル ーSWoPP '92ー 12月4日(金) 機・6F65 3月19日(金) 機・6F65
コンピュータビジョン	5月15日(金) 名工大 9月17日(木) 山梨大 * 11月19日(木)・20日(金) 京大 1月21日(木) 広島大 3月18日(木) 機・6F65
設計自動化	* 5月28日(木)・29日(金) 長崎 ※イレアウトおよび一般 * 7月16日(木)・17日(金) 機・B3-2 ※記述言語, 機能論理設計および一般 * 10月22日(木)・23日(金) 東北大 ※設計とテストおよび一般 * 1月21日(木)・22日(金) 関西 ※アーキテクチャ設計支援, ハイレベル合成および一般 3月12日(金) 機・B3-2 ※フレームワークおよび一般
マルチメディア通信と分散処理	5月15日(金) 機・B3-1 ※マルチメディア通信とヒューマンインタフェース 7月10日(金) いわき明星大 * 9月24日(木)・25日(金) 機・B3-研1 ※通信と AI 11月19日(木)・20日(金) 琉球大

(平成4年3月10日現在)

(研究会名)

(開催日・会場)

ヒューマンインタフェース	* 5月11日(月)・12日(火) 東大(山上会館) ※人工現実感 7月9日(木) 機・B3-2 * 9月10日(木)・11日(金) 北大 ※福祉 11月12日(木)・13日(金) 関西 ※(特集予定あり) 1月14日(木) 機・6F65 3月1日(月)・2日(火) 北大
グラフィクスとCAD	5月22日(金) 慶大 7月24日(金) 機・6F67 8月10日(月)・11日(火) 浜名荘(浜松) ※美術とデザイン 10月23日(金) 東京電機大 * 12月17日(木)・18日(金) 山口大 2月26日(金) リコー(東京)
数値解析	6月5日(金) 電通大 8月19日(水)~21日(金)の1日間 宮崎シーサイドホテル —SWoPP '92— 10月15日(木) 徳島大 12月4日(金) 機・B3-1 3月 統数研
情報システム	5月19日(火) 機・B3-1 7月21日(火) 機・B3-2 10月20日(火) 機・B3-2 1月19日(火) 機・B3-2 3月16日(火) 東京
プログラミング —言語・基礎・実践—	5月29日(金) 岡山大 8月19日(水)~21日(金)の1日間 宮崎シーサイドホテル —SWoPP '92— 10月30日(金) 機・6F66 1月 北陸先端大(金沢) * 3月11日(木)・12日(金) 機・6F66
情報学基礎	5月12日(火) 機・B3-9 ※全文データベース 7月14日(火) 機・B3-2 ※自己組織化 9月8日(火) 機・B3-2 ※ゲノム 11月10日(火) 機・B3-1 ※意味論
コンピュータと教育	5月22日(金) 機・B3-9 7月17日(金) テクノウェーブ100(川崎) 9月25日(金) 徳島大 11月20日(金) 機・B3-1 1月22日(金) 機・B3-1
アルゴリズム	5月21日(木) 慶大 7月17日(金) 北海道教育大 9月25日(金) 福井大 * 11月20日(金) 広島大 1月25日(月) 東芝 3月23日(火) 九大
人文科学とコンピュータ	6月5日(金) 京大 9月11日(金) 国立教育研 11月27日(金) 中京大 3月5日(金) 鳴門教育大
情報メディア	5月15日(金) 東京工科大 7月10日(金) 筑波大 11月12日(木)・13日(金) 関西 1月14日(木) 東京 3月12日(金) 東京

注) 機: 機械振興会館, \*: 他学会と共催, \*\*: 特集・テーマ

SWoPP '92: 1992年並列/分散/協調処理に関する『日向灘』サマー・ワークショップ

◎ 各研究会に発表申込希望者は開催日の3カ月前までに研究会発表申込書(本欄未添付)を事務局研究会係までご送付ください。

個人会員専用

年 月 日

## 平成4年度研究会登録申込用紙

## 新規専用

会員No. \_\_\_\_\_ 会員氏名 \_\_\_\_\_

登録希望の研究会の申込欄に○印をしてください。

申込み (コード)	研究会名	登録費	申込み (コード)	研究会名	登録費
NL-AA	自然言語処理	4,500	HI-MM	ヒューマンインタフェース	3,500
DBS-BB	データベースシステム	5,000	CG-NN	グラフィクスとCAD	4,000
AI-CC	人工知能	3,500	NA-OO	数値解析	3,500
SYM-DD	記号処理	3,500	IS-QQ	情報システム	4,000
SE-EE	ソフトウェア工学	4,000	PRG-RP	プログラミング －言語・基礎・実践－	4,500
ARC-GG	計算機アーキテクチャ	4,000			
OS-HH	オペレーティング・システム	3,000	FI-SS	情報学基礎	3,500
CV-JJ	コンピュータビジョン	4,000	CE-TT	コンピュータと教育	4,500
DA-KK	設計自動化	5,000	AL-UU	アルゴリズム	4,500
DPS-LL	マルチメディア通信と 分散処理	4,500	CH-VV	人文科学とコンピュータ	4,000
			IM-WW	情報メディア	3,500

登録申込み \_\_\_\_\_ 件 合計金額 \_\_\_\_\_ 円 請求書 要 ( \_\_\_\_\_ 部) ・ 不要

## ※ 登録上の注意

- ・ 研究報告送付先は学会誌送付先と同様となります。(住所変更は書面にて会員係までご連絡下さい。)
- ・ 登録費の払込は登録手続終了後、別途発送いたします登録費専用振替用紙にてご送金願います。

## ・ 連絡先

勤務先・所属名： \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ 内 ( \_\_\_\_\_ )

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3階 (社) 情報処理学会 研究会係  
Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

# 研 究 会 発 表 申 込 書

\_\_\_\_\_ 研究会 (申込 年 月 日)

• 発表希望開催日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( )

• タ イ ト ル \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

• 氏名, 略称所属  
 (発表者に○印右肩) \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

• 概 要 (46 文字以内) (なるべくタイトルの重複記入は避け, 補足事項等をご記入ください)


• 原稿詳細送付先

〒 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

• 連絡先

住所 〒 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

☎ \_\_\_\_\_ ( )

\_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

(会員 No. \_\_\_\_\_)

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日受付 AM・PM 送付 主査・幹事 ( )  
 担当 \_\_\_\_\_

## 情報処理学会 第45回 全国大会実施要領

講演発表希望者は、実施要領を熟読のうえ、日程に従って所定の手続きを進めてください。

論文締切日の厳守を徹底しますので、論文等の提出は必ず期日までにお出しください。一日でも遅れると発表できなくなりますので、特にご注意願います。

**開催期日** 平成4年10月11日(日)～14日(水)

**会場** 徳島大学教養部(徳島市南常三島町)

### 日程一覧

#### 1. 講演申込書の送付

学会誌本号(Vol. 33, No. 4)掲載の講演申込書に記入して、応募規程Ⅳ.の申込方法により**7月2日(木)までに(必着)**お送りください。なお7月2日に持参する方は、機械振興会館6階69号室にて受付けています。締切に遅れますと発表できなくなりますので、特にご注意ください。

#### 2. プログラム編成委員会の開催

講演申込書を締切り次第、大会プログラムの編成および座長候補の推薦を行います。

#### 3. 原稿用紙等の送付

7月中旬に事務局から「論文原稿用紙」等をお送りします。講演番号も同時に通知いたします。

#### 4. 講演論文等の提出

講演論文原稿および登録原稿等を一括して**8月19日(水)までに**、学会事務局に必着するようご提出ください。

#### 5. 大会プログラムを学会誌9月号(Vol. 34, No. 9)に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。

### 応募規程

#### I. 講演内容

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
2. 発表は日本語または英語とします。

#### II. 応募資格

1. 登壇発表者は申込時に情報処理学会個人会員であること。
2. 共同発表者は当学会個人会員であることが望ましい。
3. 平成4年度会費未納の会員は発表できません。
4. 電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会会員は当学会会員と同様の取り扱いとします。ただし、奨励賞の表彰対象者にはなれません。

#### III. 講演論文該当分野

##### 1. 情報科学一般

###### A. 一般

- a. 哲学, b. 歴史, c. 伝記, d. その他

###### B. 社会

- a. 規格, b. 標準化, c. 知的所有権, d. 社会問題, e. その他

###### C. 教育

- a. 情報科学・工学の教育, b. カリキュラム, c. コンピュータリテラシ, d. CAI, e. 教育工学, f. その他

##### 2. 基礎理論及び基礎技術

###### A. 情報数学

- a. 形式論理, b. オートマトン理論, c. 形式言語理論, d. 計算可能性の理論, e. 計算の複雑さ, f. アルゴリズム論, g. グラフ理論, h. 組合せ理論, i. ファジィ理論, j. 符号理論, k. 整数論, l. その他

###### B. 情報理論及びOR

- a. 情報理論, b. 線形・非線形計画法, c. 動的計画法, d. 整数計画法, e. ゲーム理論, f. 待ち行列理論, g. その他

###### C. データ解析

- a. 推定・検定, b. 確率モデル, c. 統計・確率計算, d. 多変量解析, e. その他

- D. 数値計算
- a. 誤差解析, b. 関数近似, c. 補間, d. 線形計算, e. 非線形方程式, f. 数値微積分, g. 常微分方程式, h. 偏微分方程式, i. 積分方程式, j. 極値問題, k. 最適化, l. 特殊関数, m. 数式処理, n. 乱数, o. その他
- E. シミュレーション
- a. 有限要素法, b. 境界要素法, c. 差分法, d. モンテカルロ法, e. その他
3. 人工知能及び認知科学
- A. 基礎理論
- a. 探索, b. 定理自動証明, c. 推論方式, d. 知識表現, e. 知識獲得, f. 非単調理論, g. 学習理論, h. コネクションイズム, i. その他
- B. 人工知能システム
- a. エキスパートシステム, b. ガイダンスシステム, c. エキスパートシステム作成支援ツール, d. ゲームプログラム, e. 演繹データベース, f. 知能ロボット, g. その他
- C. 自然言語処理
- a. 機械翻訳, b. 自然言語インタフェース, c. 対話システム, d. 形態素解析, e. 構文解析, f. 意味解析, g. 文生成, h. 談話理解, i. 文法, j. 辞書, k. その他
- D. パターン認識
- a. 音声認識, b. 話者識別, c. 画像理解, d. 物体認識, e. 文字認識, f. リモートセンシング, g. その他
- E. 生体情報処理
- a. 視覚, b. 聴覚, c. 神経モデル, d. ニューラルネットワーク, e. その他
- F. 感性情報処理
- a. 心理モデル, b. 行動モデル, c. 感情モデル, d. その他
4. データ処理
- A. 音声処理
- a. 音声分析, b. 音声合成, c. その他
- B. 画像・図形処理
- a. 画質改善, b. 帯域圧縮, c. 符号化, d. 曲面合成, e. トモグラフィ, f. 3次元処理, g. グラフィックス, h. アニメーション, i. その他
- C. テキスト処理
- a. ワードプロセッシング, b. 日本語入出力, c. 文書処理, d. 卓上出版, e. フォントデザイン, f. その他
- D. マルチメディア処理
5. ソフトウェア
- A. 基礎理論
- a. プログラム理論, b. オペレーティングシステム理論, c. データベース理論, d. 形式的意味論, e. 算法論理, f. 検証理論, g. カテゴリ理論, h. 属性文法, i. 計算パラダイム, j. プログラム合成・変換, k. その他
- B. プログラム言語及び仕様記述言語
- a. 手続き型言語, b. 論理型言語, c. 関数型言語, d. オブジェクト指向言語, e. 並列処理言語, f. システム記述言語, g. 数式処理言語, h. シミュレーション言語, i. 仕様記述言語, j. その他
- C. 言語処理系
- a. 構文解析, b. コード生成, c. 最適化, d. コンパイラ, e. インタプリタ, f. その他
- D. ツール
- a. エディタ, b. デバッガ, c. ベリファイヤ, d. コンパイラジェネレータ, e. ウィンドウシステム, f. その他
- E. オペレーティングシステム
- a. 記憶管理, b. 入出力管理, c. 障害管理, d. 通信管理, e. ファイル管理, f. ジョブ・タスク管理, g. 自動運転管理, h. 並列分散処理, i. 例外処理, j. 性能評価, k. その他
- F. データベース・情報検索
- a. データモデル, b. データ言語, c. データベース設計, d. 質問処理, e. トランザクション処理, f. 一貫性制約, g. ファイル構成, h. 検索方式, i. 分散データベース, j. マルチメディアデータベース, k. その他
- G. プログラミング技術
- a. データ構造, b. ガーベジコレクション, c. ハッシング, d. ソーティング, e. サーチング, f. その他

## 6. ソフトウェア工学

## A. 開発技術

- a. 設計理論, b. 要求分析法, c. 仕様記述法, d. プログラミング方法論, e. プロトタイピング,
- f. 部品化・再利用技術, g. プログラム自動構成, h. その他

## B. テスト・保守

- a. プログラムのテスト・デバッグ, b. プログラム検証, c. 性能評価, d. プログラム解析, e. 保守運用管理, f. その他

## C. ソフトウェアプロセス

- a. プロセスモデル, b. プロセスプログラミング, c. 工程管理, d. その他

## D. 開発環境

- a. 構成理論, b. 分散開発環境, c. 文書化支援, d. その他

## E. ヒューマンファクタ

- a. マン・マシンインタフェース, b. 要員教育・プロジェクト管理, c. プログラミング行動, d. その他

## 7. ハードウェア

## A. 基礎理論

- a. 組合せ回路理論, b. 順序回路理論, c. 論理設計理論, d. レイアウトアルゴリズム, e. ハードウェアアルゴリズム, f. その他

## B. 論理回路

- a. 記憶回路, b. 演算回路, c. 制御回路, d. 誤り検出・訂正回路, e. テスト容易化回路, f. その他

## C. デバイス

- a. 論理デバイス, b. 記憶デバイス, c. 入出力デバイス, d. ASIC PLD, e. その他

## D. アーキテクチャ

- a. 汎用計算機, b. 専用計算機, c. スーパーコンピュータ, d. ワークステーション, e. 高級言語マシン, f. 非ノイマンアーキテクチャ, g. 並列アーキテクチャ, h. マイクロプログラム, i. フォールトトレランス, j. その他

## E. 周辺・端末

- a. 外部記憶, b. ディスプレイ装置, c. ハードコピー装置, d. 文字読取装置, e. 図形入出力装置, f. 音声入出力装置, g. その他

## F. 設計技術及び設計自動化

- a. 方式設計, b. 機能設計, c. 論理設計, d. レイアウト設計, e. テスト設計, f. 設計記述言語, g. シリコンコンパイラ, h. その他

## G. 開発環境

- a. 統合化ツール, b. 設計環境, c. 設計データベース, d. その他

## H. テスト・検証

- a. LSI テスト, b. ハードウェア設計検証, c. 性能評価, d. その他

## 8. ネットワーク

## A. 通信技術

- a. データ交換方式, b. 通信方式, c. 画像通信, d. トラヒック理論, e. ネットワークアーキテクチャ, f. プロトコル, g. プロトコル検証, h. その他

## B. ネットワーク管理

- a. 名前管理, b. 経路管理, c. 障害管理, d. その他

## C. コンピュータネットワーク

- a. WAN, b. LAN, c. 電子会議, d. 電子掲示板, e. 電子メール, f. 分散処理, g. その他

## 9. システム

## A. 対話型システム

- a. 構成理論, b. 方法論, c. CAE, d. CAD, e. CAM, f. CIM, g. CAI, h. 管制システム, i. 訓練システム, j. 意志決定システム, k. オフィスシステム, l. その他

## B. オンラインシステム

- a. 予約システム, b. バンキングシステム, c. その他

## C. 制御システム

- a. プロセス制御, b. 数値制御, c. 通信制御, d. 産業用ロボット, e. FA, f. その他

## D. システム評価

- a. 評価技法, b. 評価指標, c. 評価モデル, d. その他

## 10. 信頼性と安全性

## A. 信頼性

- a. 信頼性理論, b. 保全性理論, c. 信頼性評価, d. 故障解析, e. その他



## B. 機密保護

- a. 暗号理論, b. 認証, c. 鍵管理, d. 鍵配送, e. セキュリティ, f. その他

## 11. 応用

## A. 企業等への応用

- a. オフィス, b. 行政, c. 経営, d. 金融, e. 情報サービス, f. 生産管理, g. 計算機センタ運営, h. 教育, i. その他

## B. 工学等への応用

- a. 航空・宇宙, b. 機械, c. 土木, d. 建築, e. 都市, f. 電気・電子, g. 計測, h. 生物, i. 物理, j. 化学, k. 原子力, l. 輸送・交通, m. 医学・歯学, n. その他

## C. 芸術等への応用

- a. 音楽, b. 絵画, c. 商業デザイン, d. その他

## D. その他への応用

- a. 自然科学, b. 社会科学, c. 人文科学, d. 障害者補助, e. その他

## IV. 申込方法

1. 本号会告のページ掲載の「全国大会講演申込書」に必要事項を記入して7月2日(木)までに(必着) 申込むこと。
2. 講演申込は講演申込書および講演参加費を添えて申込むこと。  
なお、連続発表を希望される場合は、別紙にて標題、講演者名および発表順番を明記し、まとめて送付すること。

## V. 申込件数

1. 登壇発表は原則として1人1件とします。
2. 2件以上になる場合は、1件ごとに発表料が必要です。また、別紙にて標題、発表分野を明記し、まとめて送付すること。

## VI. 講演参加費

1. 1件につき、会員は7,000円、学生は4,000円です。
2. 講演申込書を提出する際、同時に納入してください。なお、納入後、発表申込を取消されても返金できませんのでご注意ください。

## VII. 論文原稿提出

1. 論文原稿は、8月19日(水)(必着)までに提出してください。
2. 論文は日本語または英語とします。
3. 論文抄録を「学会発表データベース(第一系)、学術情報センター」に入力しますので、所定の用紙および記入要領に従って記入のうえ論文と一緒に提出してください。なお、著作権は学会と共有です。
4. ワープロ、タイプで作成した原稿はプリントした原文をお使いください。
5. 論文原稿提出後の訂正は一切取扱いません。よく推敲して提出してください。
6. 論文原稿の返却はいたしません。

## VIII. 論文の採否

講演論文の採否は大会運営委員会(プログラム編成委員会)が決定する。採択しないものは、例えば次のような場合である。

1. 論文の内容が著しく不十分なもの。
2. 内容が商業宣伝に偏したもの(極端な商品名の引用には注意する)。
3. 同一または類似の発表がなされており、かつ前進がないもの。
4. 応募規程に違反するもの。
5. 提出期限に遅れたもの(次回への応募をお薦めします)。

## IX. 論文集の配布

発表者には講演論文を含んだ論文集1冊を事前に郵送します。

## X. 発表論文の別刷はいたしません。

## XI. 発表当日の講演者心得

1. 講演の始まる前に、必ず自分の発表会場の講演者受付で、出席の確認を受ける。

2. 必ず前の講演者の講演時間中には、座長席の隣に設けられた講演者控え席で待機する。
  3. 一般講演の時間は、質疑を含めて15分間とします（都合により13分間のセッションもあります）。講演中でも時間切れで打ち切ります。
  4. 講演終了予定時刻の5分前および3分前に座長補佐がベルで合図します。
  5. 講演の代理（読）は認めません。
- XII. 申込先及び問合せ先  
（社）情報処理学会 全国大会係  
106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (3505) 0505

## 本会協賛等の行事案内\*

- 第47回 産業用ロボット利用技術講習会  
平成4年4月23日（木）～24日（金） 名古屋市工業研究所
- 平成4年度第1回 定例講演会「地球温暖化防止のための経済政策」  
平成4年5月28日（木） 東京・（財）電力中央研究所
- 第186回 講習会「実用化を迎えたニューロ技術」  
平成4年5月28日（木） 東京・中央大学
- 第187回講習会「CIMの設計と構築」に関する方法論と実践について  
平成4年6月9日（火） 東京・中央大学
- Computer Graphics Osaka '92  
平成4年6月10日（水）～13日（土） マイドームおおさか
- システム制御情報チュートリアル講座イーブニングスクール  
平成4年6月22日（月）、23日（火）、26日（金）、29日（月）、30日（火）  
大阪マーチャンダイズマートビル
- 세미나「開け行く“人工現実感”の世界」  
平成4年7月10日（金） 大阪・なにわ会館
- 第29回 サマーセミナー「情報光学」  
平成4年9月1日（火）～3日（木） 北海道・支笏湖畔国民休暇村
- 情報理論とその応用学会 第15回 シンポジウム  
平成4年9月8日（火）～11日（金） 群馬・松の井ホテル
- 第35回 自動制御連合講演会  
平成4年10月28日（水）～30日（金） 岡山カルチャーホテル
- NICOGRAPH '92  
平成4年11月9日（月）～13日（金） 池袋サンシャインシティコンベンションセンター TOKYO

\* 詳細は本号会議案内欄参照

情報処理学会第45回全国大会  
講演申込書

受番	付号	
講番	演号	

掲載ページ	
-------	--

第45回全国大会に下記により講演申込をいたします。

標 題 注1)					
フリガナ 注1)					
著 者 名					
所 属 名					
フリガナ				← 注) 講演者を○印で表示してください。(氏名の左上) 講演者会員種別 (○印で囲む) 正会員 学生会員	
著 者 名					
所 属 名					
論文該当分野 注2)	(1)	(2)	(3)	*1 注3)	*2 注3)

- 注1) 学会誌発表および論文集掲載の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、題目、氏名はみだりに変更しないでください。  
 注2) 論文募集要領の論文該当分野表を参照し、できるだけふさわしい分野をご記入ください。優先順位順に複数分野を記入してけっこうです。(例“ソフトウェア工学分野, 開発環境”の場合, 6Dと書く)  
 注3) 複数件講演申し込みをされる方は他の申込書の論文該当分野を上欄の\*1または\*2に記入してください。

論 文 要 旨 (300字程度)


第45回 全国大会講演発表用原稿用紙送付宛名 (講演者氏名をお書きください)

◎ 原稿用紙等の送料として郵便切手175円を添付のこと。

講演番号		(楷書でハッキリ記入してください)
原稿用紙送付先 〒	_____	
機 関・部 課 名	_____	
フリガナ	_____	
講演者氏名	_____ 殿 (会員番号 _____)	
Tel.	_____ (ex. _____)	FAX _____

会 告

### 第 45 回 全国大会講演参加費送金連絡票

この連絡票は講演参加費の入金を正確に把握するためのものです。下記の点に注意してご記入願います。

1. 1件につき、会員は7,000円、学生は4,000円（講演者には参加章・プログラム・論文集1冊を事前発送します）。
2. 講演不採択の場合は、講演参加費を返却しますが、申込後取消しの場合は返却しません。
3. 講演参加費は、講演申込書に現金を添えて学会事務局に持参くださるか、あるいは郵便振替を原則とします。
4. 事務の簡素化のため、現金持参以外の方は全てこの用紙に記入し、機関ごとにまとめてご提出ください。
5. 銀行振込は、所定の銀行口座〔三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座 No. 0003774〕にご送金ください。  
なお、座長、プログラム編成委員および現地実行委員は無料です。  
但し、2件以上の場合には1件増すごとに4,000円か7,000円をご送金ください。  
注) ご送金は登壇発表者名をお願いします。
6. 2件以上まとめて支払う場合には講演者氏名欄に各講演者名をもれなくご記入ください。（共著者の氏名は記入しないでください。）
7. 支払い件数が多く、下の票に講演者氏名が書ききれない場合は別にリストをつけてください。
8. 講演参加費は消費税対象外です。
9. 講演参加費は平成4年7月2日までにお支払い願います。

講演参加費	4,000円	件	7,000円	件
講演者氏名	○		○	
	○		○	
	○		○	
合計金額				円
必要書類：請求書 通、納品書 通、見積書 通 ※必要のない方は空欄のままで結構です。				
送金方法： <input type="checkbox"/> 郵便振替（東京 5-83484） ※該当個所にレ印を付けてください <input type="checkbox"/> 銀行振込 _____ 銀行 （専用銀行口座：三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座 No. 0003774） 送金月日： 月 日 送金人名義：				
通信欄：				
（楷書でハッキリ記入してください）				
講演参加費 取扱者 連絡先	〒 _____			
機関・部課名	_____			
フリガナ 氏名	_____ 殿			
Tel.	_____ (ex. _____)			FAX _____

## 「連続 세미나 92」の開催について 21世紀に生き残るコンピューティングは何か？

日 時	第1回 1992年 5月 22日 (金) 第2回 1992年 7月 23日 (木) 第3回 1992年 9月 10日 (木) 第4回 1992年 11月 19日 (木) 第5回 1993年 1月 21日 (木) 第6回 1993年 3月 11日 (木)
場 所	工学院大学 312教室 (新宿区)
参加費	会員 150,000円, 非会員 180,000円, 学生会員 12,000円
定 員	250名 (学生は20名) になり次第締め切ります.
申込締切	1992年 5月 11日 (月) 厳守
資 料	毎回録音テープをもとに議事録を作成し, 次回のときに配布いたします.

### [第1回] ダウンサイジングとオープン化の課題

—クライアントサーバとトランザクション—

- ・ダウンサイジングとマルチベンダの現状と課題
- ・データベースのオープン化
- ・分散トランザクションモニタ
- ・パネルディスカッション

コーディネータ: 石田晴久 (東大)

### [第2回] マルチメディアコンピューティングの課題

—標準化とグループウェア—

- ・マルチメディア OS の動向
- ・マルチメディアの標準化動向
- ・マルチメディアとグループウェア
- ・パネルディスカッション

コーディネータ: 松下 温 (慶大)

### [第3回] パソコンの新入力方式のインパクト

—ペン入力と音声入力—

- ・ペンベースコンピューティングとビジネススタイル
- ・ペン OS の実際
- ・音声入力の将来性
- ・パネルディスカッション

コーディネータ: 脇 英世 (電機大)

### [第4回] オブジェクト指向アプリケーションをとりまく環境

—ソフトウェア開発とデータベース—

- ・オブジェクト指向管理ソフトの現状と課題
- ・オブジェクト指向データベースの現状と課題
- ・オブジェクト指向 CASE の現状と課題
- ・パネルディスカッション

コーディネータ: 所真理雄 (慶大)

### [第5回] 分散コンピューティングの進展

—ネットワークの拡大と社会—

- ・分散環境は使い物になるか
- ・ネットワーク OS の現状と課題
- ・セキュリティとプライバシー
- ・パネルディスカッション

コーディネータ: 徳田英幸 (CMU)

### [第6回] 硬柔技術限界予測

—21世紀の技術—

- ・総括
- ・硬い技術に関する予測
- ・柔らかな技術に関する予測
- ・パネルディスカッション

コーディネータ: 石田晴久 (東大)

講演者が決定次第ご案内いたします。(英語の講演は同時通訳付きです)  
内容が多少変更される場合がございます。ご了承ください。

「連 読 セ ミ ナ 92」

参 加 申 込 書

平成 4 年 月 日

標記セミナーの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（6 回分）（該当するものを○でかこむ）

正会員，賛助会員 150,000 円 非会員 180,000 円 学生会員 12,000 円

\* 参加費には，議事録代が含まれています。

○議事録のみ（1 回分）会員 25,000 円 非会員 30,000 円 \_\_\_\_\_冊

○送金方法

\* 合計 \_\_\_\_\_円を一括で a) 当日，会場受付にて支払います。

b) \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日送金します。

\* (b を選択した方のみご記入ください)

b-1) 現金書留（送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル

(社)情報処理学会 連続セミナー係)

b-2) 銀行振込（いずれも普通預金口座）

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 第一勧銀虎ノ門支店 1013945  | 4. 富士銀行虎ノ門支店 993632   |
| 2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 | 5. さくら銀行東京営業部 4298739 |
| 3. 住友銀行東京公務部 10899    | 6. 三和銀行東京公務部 21409    |

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金先銀行名 \_\_\_\_\_銀行宛

・送金取扱銀行名 \_\_\_\_\_銀行 \_\_\_\_\_支店より

・送金人名義 \_\_\_\_\_様

\* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

担当者名 \_\_\_\_\_

請求書 通，見積書 通，納品書 通

Tel. \_\_\_\_\_

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

\* 分割でのお支払いも可能です。

分割希望回数 \_\_\_\_\_回

送金予定 \_\_\_\_\_

○申 込 先

情報処理学会 連続セミナー係 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル3F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者  
連絡先

〒 \_\_\_\_\_

フリガナ  
氏 名

\_\_\_\_\_ 殿

機関名

\_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) FAX \_\_\_\_\_

## 「1992 年並列処理シンポジウム JSPP '92」開催について

コンピュータにおける並列処理の技術的な課題を対象として、基礎理論、アルゴリズム、ソフトウェア、アーキテクチャ、応用と広い範囲にわたって議論することを目的とした「並列処理シンポジウム JSPP」も、今回で4回目を迎えることとなります。JSPP は、これまで、日本における並列処理の中心的な研究交流の場の1つとして、常にホットな話題を提供してきました。今回も、学際的な並列処理研究のなご一層の発展を目指して、並列処理に関する最前線の研究発表を中心に、白熱した議論が行われる予定です。下記のプログラム通り、3日間の開催期間中、54件の一般講演と2件の招待講演及び1件のパネル討論を予定しております。多数の方々のご参加をお待ちしております。

**日 時** 平成4 (1992)年6月15日 (月)～17日 (水)

**会 場** パシフィコ横浜 (横浜市西区みなとみらい 1-1)

(JR 京浜東北線/東急東横線/市営地下鉄・桜木町下車 徒歩10分)

**主 催** 情報処理学会・計算機アーキテクチャ研究会, 同・データベース研究会, 同・オペレーティングシステム研究会, 同・アルゴリズム研究会, 同・プログラミング—言語・基礎・実践—研究会, 同・数値解析研究会, 電子情報通信学会・コンピュータシステム研究会

**協 賛** 日本ソフトウェア科学会

**参 加 費** 正会員/賛助会員: 27,000 円 非会員: 30,000 円 学生 (含大学院生): 10,000 円

論文集のみ (送料込): 5,000 円

☆共催/協賛学会員は正会員として扱います。

☆参加費には、論文集代及び懇親会費が含まれています。

**参加申し込み締切** 平成4 (1992)年5月20日 (水)

**参加申し込み方法** 本会告末尾の参加申込書によってお申し込みください。

**参加申し込み先 (問い合わせ先)** (社)情報処理学会シンポジウム (JSPP '92) 係

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル TEL: (03) 3505-0505 FAX: (03) 3584-7925

### 宿泊設備

以下に示すホテルに宿泊枠を確保してあります。ご利用の際には、ご予約時に「JSPP に参加する」旨をお伝えください。確保している宿泊枠は、各ホテルとも6月15、16日の両日についてシングル20部屋ずつです。なお、宿泊枠が確保されている期限は4月15日までですがその後も受け付けます。

#### JSPP で宿泊枠を確保しているホテル

##### 1. ホテルシャトレイン横浜

231 横浜市中区不老町 1-2 Tel. (045) 681-4800 FAX (045) 681-4360

担当: 柏屋 JR 線「関内」駅南口より徒歩1分 一泊 9,630 円 (消費税込み)

##### 2. ニューオータニイン横浜

231 横浜市中区末吉町 4-81 Tel. (045) 252-1311 FAX (045) 252-4884

担当: 中谷 京浜急行線「小金町駅」より徒歩1分 一泊 9,000 円 (消費税抜き)

## —JSPSP '92 プログラム構成—

6/15 (月)	10:00~	受付開始		
	12:50~13:00	開会の辞・実行委員長挨拶		
	13:00~15:30	Spec-1 招待講演 (M会場) ● 流れのシミュレーションとスーパーコンピュータ 桑原 邦郎 (宇宙科学研究所) ● 超並列 AI 処理 北野 宏明 (日本電気)		
	15:30~16:00	コーヒブレイク		
	16:00~17:30	Arch-1 (M会場) メッセージ指向 アーキテクチャ	Soft-1 (C会場) 言語処理系 I	Appl-1 (D会場) グラフィックスと データベース
	18:00~20:00	懇親会 (E会場)		
6/16 (火)	9:00~10:30	Arch-2 (M会場) ネットワーク	Bas-1 (C会場) 基礎理論	Appl-2 (D会場) 応用と通信量
	10:30~11:00	コーヒブレイク		
	11:00~12:30	Arch-3 (M会場) 細粒度並列処理	Arch-4 (C会場) プロセッサ アーキテクチャ	Appl-3 (D会場) ニューラル ネットワーク
	12:30~14:00	昼 食		
	14:00~15:30	Arch-5 (M会場) 共有メモリ	Soft-2 (C会場) 開発環境・計算モデル	Bas-2 (D会場) 並列アルゴリズムの 評価
	15:30~16:00	コーヒブレイク		
	16:00~18:30	Spec-2 パネル討論 (M会場) ● 並列計算機の実用化・商用化を逡巡させる諸要因とは? —その徹底分析と克服— モデレータ: 富田 眞治 (京大)		
6/17 (水)	9:00~10:30	Arch-6 (A会場) 並列システム	Soft-3 (B会場) 言語処理系 II	Appl-4 (C会場) CAD
	10:30~11:00	コーヒブレイク		
	11:00~12:30	Arch-7 (A会場) データフロー	Arch-8 (B会場) SIMD/ベクトル プロセッサ	Bas-3 (C会場) 並列/ネットワーク アルゴリズム

注) プログラムの詳細は別紙。会場は、M: 301+302, A: 301, B: 302, C: 303, D: 304, E: 305 の各会議室。



**JSPP '92 プログラム**  
—第1日 6月15日(月)—

受付開始 (10:00~)

開会の辞・実行委員長挨拶 (12:50~13:00, M会場)

富田 眞治 (京大)

Spec-1 招待講演 (13:00~15:30, M会場)

●流れのシミュレーションとスーパーコンピュータ

桑原 邦郎 (宇宙科学研究所)

●超並列 AI 処理

北野 宏明 (日本電気)

Arch-1 メッセージ指向アーキテクチャ (16:00~17:30, M会場)

座長: 後藤 厚宏 (NTT)

●トラスネットワークにおける最適全対全通信方式

堀江 健志, 林 憲一 (富士通研)

●高速メッセージハンドリング機構—AP 1000 における実現—

清水 俊幸, 堀江 健志, 石畑 宏明 (富士通研)

●リング結合型並列計算機 KORP における分散共有メモリシステムプロトタイプの性能評価

中條 拓伯, 吉永 健 (神戸大), 和田 耕一 (筑波大), 金田悠紀夫 (神戸大)

Soft-1 言語処理系 I (16:00~17:30, C会場)

座長: 笠原 博徳 (早大)

●先行評価を用いたマクロタスクの多段仮実行方式の提案

山名 早人, 安江 俊明, 石井 吉彦, 村岡 洋一 (早大)

●An Efficient Message Transfer Mechanism Bypassing Transit Processors

Hiroshi Nakashima (三菱電機), Yū Inamura (ICOT)

●並列制約論理型言語の MIMD 型並列計算機への実装

長塚 雅明, 松岡 聡, 小林 直樹, 米澤 明憲 (東大)

Appl-1 グラフィックスとデータベース (16:00~17:30, D会場)

座長: 中田登志之 (日電)

●PHIGS の構造体を処理するジオメトリ演算のマルチプロセッサ上での実行効率評価

松本 尚 (東大), 川瀬 桂, 森山 孝男 (日本 IBM)

●光アレイロジックによるデータベース処理

岩田 昌也, 谷田 純, 一岡 芳樹 (阪大)

●スーパーデータベースコンピュータ (SDC) 上での平坦化ハッシュジョインの評価

中村 稔, 平野 聡, 原田 昌信, 相場 雄一, 鈴木 和宏, 喜連川 優, 高木 幹雄 (東大)

懇親会 (18:00~20:00, E会場)

—第2日 6月16日(火)—

Arch-2 ネットワーク (9:00~10:30, M会場)

座長: 末吉 敏則 (九工大)

●ハイパクロスバネットワーク結合並列プロセッサへのマルチプロセッサ・クラスタ構造の導入によるネットワークハードウェア量の削減効果

濱中 直樹, 中越 順二 (日立製作所)

●並列オブジェクト指向トータルアーキテクチャ A-NET—ルータの構成—

吉永 努, 茂木 久, 佐々木 晶, 馬場 敬信 (宇都宮大)

●並列計算機 ADENART における各種相互結合網の実現

西川 順二 (松下電産)

Bas-1 基礎理論 (9:00~10:30, C会場)

座長: 山下 雅史 (広大)

●頂点集合分割問題の並列化可能性について

岩本 宙造, 岩間 一雄 (九大)

●階層型ネットワークのための分散 $\epsilon$ 相互排除アルゴリズム

藤田 聡, 山下 雅史, 阿江 忠 (広大)

●時間的な制約をもつ並列プロセスの形式的記述

佐藤 一郎, 所 真理雄 (慶大)

Appl-2 応用と通信量 (9:00~10:30, D会場)

座長: 小柳 義夫 (東大)

●並列マシン Cenju 上の有限要素法による非線形変形解析

加納 健, 中田登志之 (日電),

奥村 秀人, 大竹 邦彦, 中村 孝, 福田 正大 (航空宇宙技研), 小池 誠彦 (日電)

●超並列機向けデータ分割の自動評価方式

山本富士男 (日立製作所)

●並列マシン Cenju による並列ボルツマンマシンシミュレータ

田地野眞次 (日本電気技術情報システム開発)

Arch-3 細粒度並列処理 (11:00~12:30, M会場)

座長: 曾和 将容 (名工大)

●超並列計算機における粒度最適化機構の検討

坂井 修一, 児玉 祐悦, 佐藤 三久, 山口 喜教 (電総研)

●データフロー計算機におけるデータ流制御の最適化と評価モデル

許 昭倫 (日電), 関口 智嗣, 佐藤 三久 (電総研)

- 細粒度並列処理における性能評価モデル—節度ある並列性を求めて— 関口 智嗣, 佐藤 三久 (電総研)  
Arch-4 プロセッサアーキテクチャ (11:00~12:30, C会場) 座長: 服部 彰 (富士通研)
  - 多重スレッド・多重命令発行を用いる要素プロセッサ・アーキテクチャ  
平田 博章, 木村 浩三, 永峰 聡, 西村 明夫, 中瀬 義盛, 西澤 貞次 (松下電産)
  - 動的再構成型 VLIW プロセッサアーキテクチャ V++ 有田 隆也, 曾和 将容 (名工大)
  - DSN 型スーパーパスカラ・プロセッサ・プロトタイプ—DSNS アーキテクチャに関する評価—  
納富 昭 (富士通), 久我 守弘 (九工大), 村上 和彰 (九大), 富田 眞治 (京大)
  - Appl-3 ニューラルネットワーク (11:00~12:30, D会場) 座長: 小柳 滋 (東芝)
  - トランスペアレントによるニューラルネットワークの高速化と事例ベース推論への応用  
山崎 勝弘, 金谷 直, 渡部 透, 得丸 英勝 (立命館大)
  - 8隣接プロセッサ・アレイによるニューラルネットワークの並列処理  
武田 利浩, 田中 昭吉, 丹野 州宣 (山形大)
  - 並列ニューラルネットワークシミュレーションマシン Neuman のソフトウェアシミュレータによる性能評価  
加納 健, 梶原 信樹, 小池 誠彦 (日電)
  - Arch-5 共有メモリ (14:00~15:30, M会場) 座長: 天野 英晴 (慶大)  
Masaru Takesue (NTT)
  - A Cache Coherence Scheme in the Network
  - 分散共有メモリシステムの実現方式と性能評価 山崎 剛, 中村 正道, 和田 耕一 (筑波大)
  - スヌープキャッシュ制御機構の DOACROSS ループへの適用 松本 尚 (東大)
  - Soft-2 開発環境・計算モデル (14:00~15:30, C会場) 座長: 雨宮 真人 (九大)
  - 超並列のためのマルチアーキテクチャコンパイラ開発環境—はれだす—  
安江 俊明, 金子 正教, 萩原 純一, 新開 正史, 山名 早人, 村岡 洋一 (早大)
  - マルチウィンドウデバッグ HyperDEBU における細粒度高並列プログラムの実行のデータフローの視覚化  
館村 純一, 小池 帆平, 田中 英彦 (東大)
  - NueLinda Interpreter in NueLinda—非均質システム NueLinda インタプリタの自己記述—  
奥乃 博, 明石 修, 村上健一郎, 天海 良治 (NTT)
  - Bas-2 並列アルゴリズムの評価 (14:00~15:30, D会場) 座長: 岩間 一雄 (九大)
  - 遺伝的アルゴリズムを用いた並列グラフ分割アルゴリズム 丸山 勉 (日電)
  - 並列分枝限定法による混合整数計画問題の解法 川岸 太郎 (ICOT)
  - Iterative-Deepening A\* アルゴリズムの並列化と並列推論マシン PIM/m 上の性能評価  
和田 正寛 (ICOT), 六沢 一昭 (沖電気), 市吉 伸行 (ICOT)
  - Spec-2 パネル討論 (16:00~18:30, M会場) モデレータ: 富田 眞治 (京大)
  - 並列計算機の実用化・商用化を遂進させる諸要因とは?—その徹底分析と克服—  
笠原 博徳 (早大), 島崎 眞昭 (九大), 高橋 延匡 (東京農工大), 瀧 和男 (ICOT) ほか
- 第 3 日 6 月 17 日 (水) —
- Arch-6 並列システム (9:00~10:30, A会場) 座長: 西澤 貞次 (松下電産)
  - 並列オペレーティング・システム K1 の設計と実現—フリー・プロセッサ・キューを用いたプロセッサ管理—  
今村 信貴, 桑山 雅行, 林 茂昭, 宮崎 輝樹, 福田 晃 (九大), 富田 眞治 (京大)
  - 1チップデータ駆動形プロセッサのアーキテクチャ評価  
坪田 浩乃, 小守 伸史 (三菱電機), 寺田 浩詔 (阪大)
  - 12.8 Gflops 並列 DSP システム NOVI-II HiPIPE の構成  
藤井 哲郎, 澤邊 知子, 中田 広, 大田 直久, 小野 定康 (NTT)
  - Soft-3 言語処理系 II (9:00~10:30, B会場) 座長: 西川 博昭 (阪大)
  - 並列オブジェクト指向言語の疎結合マルチコンピュータ上の高効率な実装  
田浦健次朗, 松岡 聡, 米澤 明憲 (東大)
  - ABCL/on EM-4: データ駆動計算機上の並列オブジェクト指向計算システムの高性能実装  
八杉 昌宏, 松岡 聡, 米澤 明憲 (東大)
  - Data-Parallel Programming on the EM-4 Dataflow Parallel Supercomputer

Andrew Shaw (MIT), Yuetsu Kodama, Mitsuhsa Sato, Yoshinori Yamaguchi (電総研)

Appl-4 CAD (9:00~10:30, C会場)

座長: 安浦 寛人 (九大)

- MIMD 型並列計算機上の LSI ルーター—PROTON—

山内 宗, 中田登志之, 石塚 昭夫, 西口 信行, 小池 誠彦 (日電)

- 近細粒度タスクを用いた電子回路シミュレーションの並列処理

前川 仁孝, 田村 光雄, Wichian Premchaiswadi, 笠原 博徳, 成田誠之助 (早大)

- イベント時刻の下限值を用いた並列論理シミュレーション

石川 貴史 (筑波大)

Arch-7 データフロー (11:00~12:30, A会場)

座長: 山口 喜教 (電総研)

- 高並列処理向け要素プロセッサ EMC-Y の設計 児玉 祐悦, 佐藤 三久, 坂井 修一, 山口 喜教 (電総研)

- データ駆動計算機 EDDEN の基本性能評価 岡本 一見, 川口 正樹, 三浦 宏喜, 清水 雅久 (三洋電機)

- データフロー計算機 SIGMA-1 の性能評価 島田 俊夫, 平木 敬, 関口 智嗣 (電総研)

Arch-8 SIMD/ベクトルプロセッサ (11:00~12:30, B会場)

座長: 廉田 浩 (松下電産)

- 光入出力を有する超並列演算処理機構 (SPE-4k)

石川 正俊, 森田 彰, 高柳 信夫 (東大)

- 『順風』: MSF 型ベクトル・プロセッサ・プロトタイプ—MSFV アーキテクチャに関する評価—

橋本 隆 (九大), 岡崎 恵三 (日産自動車), 弘中 哲夫, 村上 和影 (九大), 富田 真治 (京大)

- レジスタウィンドウとスーパスカラ方式による疑似ベクトルプロセッサの提案

中村 宏, 位守 弘充, 伊藤 元久, 中澤喜三郎 (筑波大)

Bas-3 並列/ネットワークアルゴリズム (11:00~12:30, C会場)

座長: 梅尾 博司 (大阪電通大)

- 並列アルゴリズムに適用した確率アルゴリズムの性能評価の試み—超立方体パケット交換ネットワークのルーティング問題の場合—

石原 鑑, 萩原 兼一, 魚井 宏高, 首藤 勝 (阪大)

- ハイパキューブ型マルチプロセッサにおけるタスクスケジューリングの一考察

紺谷 精一, 佐藤 哲司 (NTT)

- An information disseminating scheme in a processor network and its automorphism

Walter Unger (Universität GH-Paderborn), 五十嵐善英, 大澤 新吾 (群馬大)

注) 座長/パネリストは依頼中のため, 予定. 会場は, M: 301+302, A: 301, B: 302, C: 303, D: 304, E: 305 の各会議室.

## 情報処理学会論文誌「マルチメディア通信と分散処理」

### 特集号への論文投稿のおすすめ

論文誌編集委員会

情報処理学会の論文誌において下記の要領で「マルチメディア通信と分散処理」をテーマに特集号を企画しております。当学会のマルチメディア通信と分散処理研究会が主催する研究会やシンポジウムにおいてこれまでに発表された論文、また本テーマに関連した論文を広く公募しますので奮って投稿されますようご案内いたします。

#### 記

- (1) 執筆要領 情報処理学会機関誌原稿執筆案内 (学会誌 1991 年 4 月号) の論文誌投稿規定によります。
- (2) 査読手続 通常の論文誌投稿論文と同一です。
- (3) 投稿締切 1992 年 10 月 31 日  
投稿論文には、『マルチメディア通信と分散処理』特集と朱書してください。
- (4) 査読完了予定 1993 年 3 月末 (照会も含む)
- (5) 特集号予定 1993 年 6 月号

なお、上記のように投稿論文は一般投稿と全く同じ要領で扱われますが、査読が通常よりも迅速に行われ、かつ採録された論文は一括掲載されるという利点があります。

「1992 年並列処理シンポジウム JSPP '92」

参加申込書

平成 4 年 月 日

標記シンポジウム参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○でかこむ)

正会員/賛助会員：27,000 円 非会員：30,000 円 学生 (含大学院生)：10,000 円

\*共催/協賛学会員は正会員として扱います。下記氏名欄の後ろに学会名も合わせてご記入願います。

\*参加費には、論文集代及び懇親会費が含まれています。

○論文集のみ (送料込み 5,000 円) \_\_\_\_\_冊

○送金方法

\* \_\_\_\_\_円を a) 当日、会場受付にて支払います。

b) \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日送金します。

\* (b を選択した方のみご記入ください)

b-1) 現金書留 (送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル

(社)情報処理学会 シンポジウム係 Tel. 03 (3505) 0505)

b-2) 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 さくら銀行東京営業部 4298739

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金先銀行名 \_\_\_\_\_銀行宛

・送金取扱銀行名 \_\_\_\_\_銀行 \_\_\_\_\_支店より

・送金人名義 \_\_\_\_\_様

\* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は 1 枚 1 人としてください。(コピーで申し込むこと)

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者  
連絡先

〒 \_\_\_\_\_

機関名 \_\_\_\_\_

フリガナ  
氏名 \_\_\_\_\_

学会名

殿 ( \_\_\_\_\_ )

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) FAX \_\_\_\_\_

## 「並列アルゴリズムと並列アーキテクチャ理論と実際」 チュートリアル開催について

ハードウェア技術の進歩により、数千から数万台規模のプロセスから成る並列計算機が試作／商用化され、並列計算機の利用者／利用機会は着実に増加している。しかしながら、並列計算機の現在ないし将来のユーザ、メーカーのソフトウェア／ハードウェア開発技術者、研究者などの中には、並列アルゴリズムと並列アーキテクチャに関して、さまざまな疑問、誤解、等が生じているように見受けられる。

本チュートリアルは、このような疑問、誤解、等に応えるべく、多種多様にわたる並列アルゴリズムおよび並列アーキテクチャに関する基本概念、用語、現状を初心者にもわかりやすく整理し解説する。具体的には、アルゴリズムおよびアーキテクチャそれぞれの分野の第一線の研究者を講師として迎え、並列処理の理論的側面および実際の側面をお互いの立場から解説してもらい、理想と現実のギャップにともなう混乱を解消するように努める。この機会を利用し、多数ご参加されるようお勧めいたします。

**日 時** 平成 4 年 6 月 18 日 (木) 9 時 30 分～17 時 10 分  
**会 場** 機械振興会館 研修 2 号室 (地下 3 階) (東京都港区芝公園 3-5-8)  
**参 加 費** 会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生 2,000 円,  
 会員 (研究会 ARC または AL 登録者) 6,000 円 (テキスト代を含む)  
**資料のみ** 4,000 円 (送料込)  
**申込締切** 平成 4 年 6 月 5 日 (定員 110 名になり次第締め切らせていただきます。)

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム (予定) ~~~~~

9:30～9:40 開会のあいさつ	
9:40～10:40 序 論	馬場 敬信 (宇都宮大)
10:40～11:40 並列アルゴリズムの理論	宮野 悟 (九大)
11:40～12:40 昼 食	
12:40～13:40 超並列アーキテクチャとそのアルゴリズム	梅尾 博司 (大阪電通大)
13:40～14:40 SIMD アーキテクチャとそのソフトウェア	湯浅 太一 (豊橋技科大)
14:40～15:00 休 憩	
15:00～16:00 MIMD アーキテクチャとそのアルゴリズム-1	石畑 宏明 (富士通研)
16:00～17:00 MIMD アーキテクチャとそのアルゴリズム-2	中田登志之 (日電)
17:00～17:10 閉会のあいさつ	



## 夏のプログラミングシンポジウムのお知らせ

今年の夏のシンポジウムは以下のように「新しいコンピューティングとプログラミング」というテーマで行うことにします。

プログラミングシンポジウムが「夢のシンポジウム」として始まったのは 30 年以上前、ようやく計算機が実用的なものになってきたころのことです。当時、プログラミングはそれまで人間になしえなかったことを可能にする夢多きものでした。しかし、ソフトウェア危機が叫ばれてから今日に至るまで、プログラミングの研究は、むしろ後ろを向いて足元をしっかりとさせることに重点が置かれ、プログラミングのロマンを追い求めることは忘れられがちだったようです。計算機が成熟産業となった今、もう一度、「夢のシンポジウム」の原点に立ち戻り、新しいコンピューティングとプログラミングについて夢多く語りあうシンポジウムを再現したいと思います。幸い、その土壌は醸成されつつあるようにも見えます。

発表が期待される論文は以下のようなもので、多少粗削りなものも（むしろ）歓迎されます。なお、ここに挙げた〔例〕はあくまでも例です。

- プログラミングの新しい可能性を拓くようなコンピューティングモデルとそのプログラミング（それがプログラミングといえるかどうか議論を呼ぶようなものも含む）
  - 〔例〕 自己組織化プログラミング、遺伝アルゴリズム、市場型プログラミング
- 従来はプログラミングの対象としなかったようなものを対象とするプログラミング
  - 〔例〕 プロセスプログラミング、物語プログラミング(?)
- 新しいプログラミングの流儀（新規ではなくても、プログラミングの新しい側面が見えるようなもの）
  - 〔例〕 ビジュアルプログラミング、例によるプログラミング
- ハードウェアやコンセプトにプログラミングが追いついていない(?) ような分野
  - 〔例〕 (超) 並列・(超) 分散プログラミング、エージェント指向プログラミング
- その他、新しいプログラミングに関する話題

以上のような話題が多岐にわたるので、プログラミングの支援系、理論基盤などはメインの話題にせず、プログラミングがもたらす新たな能力・機能や視点、人間の意識変革の可能性といった側面に重点をおくことで、議論の場を共通にしたいと思います。

**日 時** 7月21日(火) 午後～23日(木) 午前

**場 所** NTT 軽井沢八風山荘（長野県北佐久郡軽井沢町大字発地字向井平 937-2, Tel. 0267(48)1260）信越線中軽井沢駅よりタクシー利用か、マイカー利用が便利です。

**定 員** 50名

**参加費** 25,000円

発表ご希望の方は、題名、内容のあらまし、発表者の氏名、性別、所属、連絡先（できれば e-mail address も）を5月11日(月)までに情報処理学会シンポジウム係（106 港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (3505) 0505）までお送りください。また、発表を聞くだけの参加はその旨を明記してお申し込みください。

**幹 事** 竹内郁雄 (NTT) Fax: 0422 (59) 3943, e-mail nue@ntt-20.ntt.jp

安村通晃 (慶大) Fax: 0466 (47) 5041, e-mail yasumura@sfc.keio.ac.jp

## 「DA シンポジウム '92」論文募集

設計自動化 (DA) 技術は、近年のコンピュータ、VLSI の急速な進歩を支える重要技術のひとつであり、その進展もまた急であり、技術革新の動きは活発です。特に、最近では論理 DA、レイアウト DA、テスト DA といったそれぞれの分野の要素技術だけでなく、システムインテグレーション技術、システムフレームワークにも多大な関心が集められています。また、CAD システムで用いられる設計記述言語、データフォーマットなどの標準化活動も国際的に活発になってきております。

本シンポジウムではこうした DA 技術の進展に役立つため最新の技術発表と国際的な技術動向情報の交換を目的として発表と討論の場を提供するものです。

日時 平成 4 年 8 月 27 日 (木)~29 日 (土)  
場所 西浦温泉 南風荘 (愛知県蒲郡市西浦町)

### トピックス (予定)

- 論理合成 (組み合わせ回路合成/最適化, ハイレベル合成など)
- 自動レイアウト (フロアプランニング, タイミングドリブレイアウトなど)
- テスト設計自動化 (テストパターン生成, テスト容易化設計など)
- 機能/論理/回路設計支援 (各種シミュレーション, 設計言語標準化など)
- CAD フレームワーク (CAD ツール統合化, 設計工程管理など)
- 設計システム (シリコンコンパイラ, 特定用途向け CAD など)

- 実施方法**
- (1) 論文集を発行するため、発表申し込み、論文の投稿をお願いします。
  - (2) 応募は、アブストラクト (A 4 判用紙 2 枚程度) を平成 4 年 4 月 30 日までに提出ください。
  - (3) 採否の決定は平成 4 年 5 月 25 日までに連絡します。
  - (4) 本論文は研究会発表形式で 4 ページ程度とし、平成 4 年 7 月 20 日までに提出ください。

**連絡先・論文提出先** 情報処理学会 DA シンポジウム係  
106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル  
Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

## 学会誌送本先の住所等の変更届について

勤務先、自宅住所に変更のある方は、本号末尾綴込みの「変更連絡届」にて氏名、会員番号を付し、早急にご連絡ください。変更の受付は毎月 20 日に締切り、翌月号から変更いたします。21 日以降受付分の変更は翌々月号からとなりますのでご注意ください。

## 論文誌・欧文誌の新規購読のおすすめ

「論文誌」(月刊) および「欧文誌」(季刊) は有料頒布です。まだ購読されていない方は平成 4 年度から購読されることをお勧めします。新規購読希望の方はその旨会費納入の振替用紙通信欄にご記入いただくか、2 月号本欄添付の購読申込書によりお申込みください。

## 新入会員勧誘のお願い

4 月は入会に絶好のチャンスです。3 月号末尾綴込みの入会申込書 (B5 判) で、入会をご勧誘ください。情報処理関連の学術研究あるいは事業に携わっている方、関心をお持ちの方の入会をお待ちしております。



## 「グラフィクスと CAD」シンポジウム論文募集

—新たなバーチャルリアリティを求めて—

グラフィクスと CAD の研究開発は近年ますます盛んとなり、基礎、応用、ハードウェアの全般にわたり多くの興味深い話題を提供しております。当学会では過去 9 回、標記シンポジウムを開催し、多数の研究者、技術者の参加を仰ぎ、大きな成果を得てまいりました。本年度も下記のとおりシンポジウムを開催いたしますので、グラフィクスと CAD の分野における最新の成果、新しい手法の提案、今後の展望、先端技術を追及するものに至るまで、十分な意見交換や議論を喚起するような興味深い論文の応募をお願いいたします。

**開催日時** 平成 4 年 9 月 24 日(木)～25 日(金) 9 時～18 時

**場 所** 工学院大学新宿校舎 3 階 301 教室

**トピックス** (主要なテーマは以下のとおりですが、必ずしもこれらに限りません)

- グラフィクスの基礎  
表示、レンダリング、グラフィクス入力、データ構造とデータベース、計算幾何学
- グラフィクスシステム  
グラフィクス言語とソフトウェア、ディスプレイ、入力デバイス、ワークステーション、ヒューマンインタフェース、標準化
- グラフィクスの応用  
アニメーション、アート、フラクタル、ビジネスグラフィクス、人工現実感、人物や自然物の表示、文書や画像の処理、サイエンティフィックビジュアルライゼーション
- CAD  
設計方法論、形状モデリング、ソリッドモデリング、図面の入力と処理、エンジニアリングデータベース、インテリジェント CAD、システム構成法

- 実施方法**
- (1) 完成された研究論文のみでなく、問題提起、新しい試み、提案などさまざまな性格のオリジナル論文を歓迎する。
  - (2) 和文 A 4 判用紙 2 枚に、論文内容がよく伝わるように記述した論文概要を提出してください。概要には、題名、氏名、所属、連絡先も併記してください。
  - (3) 応募論文は、シンポジウム実行委員会において審査いたします。採択されたものについては、本論文(カメラレディ、本学会研究会様式にて 10 ページ以内)を提出していただきます。今年から、カラーページを論文集に導入いたします(有償となります)。
  - (4) 採択された論文は、平成 5 年度研究賞の対象となります。
  - (5) スケジュール
    - 論文概要提出締め切り 平成 4 年 5 月 15 日(金) 必着
    - 論文審査結果通知 同 6 月中旬
    - カメラレディ稿締め切り 同 8 月 7 日(金) 必着

**参加費** 会員 15,000 円, 非会員 25,000 円, 学生会員 5,000 円

**申込先** 情報処理学会「グラフィクスと CAD」シンポジウム係

東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

## 「コンピュータシステム・シンポジウム」の論文募集

コンピュータの高性能化，ネットワークの発達，コンピュータ利用形態の多様化などにより，今日，オペレーティングシステム (OS) に新しい技術が求められるようになってきています。オペレーティングシステム研究会では，過去3回，標記シンポジウムを開催し，多数の参加を仰ぎ，大きな成果を得てまいりました。この度は，OS の研究・開発に携わる人，利用する人が一堂に会して，OS 全般にわたる幅広い議論を行うことを目的に，下記の要領でシンポジウムを開催いたします。多数の論文投稿をお待ちしております。

**日 時** 平成4年10月27日(火)～28日(水)

**場 所** 工学院大学大講堂312号室

**トピックス** (OSに関連したテーマ全般)

分散 OS, マルチプロセッサ OS (並列 OS), リアルタイム OS, ファイルシステム, 分散開発環境, マルチメディアシステム, ユーザインタフェースと OS, 高性能化, 高信頼化, セキュリティ, OS の運用・管理, 性能評価, マイクロカーネルなど

- 実施方法**
- (1) 応募される場合は，論文内容がよくわかるように記述した論文概要 (A4 判用紙2枚) を5部提出してください。
  - (2) 応募論文は，論文概要をもとに，上記シンポジウム実行委員会において審査します。採択されたものについては，本論文 (A4 判用紙8枚以内，カメラレディなもの) を提出してください。
  - (3) 完成された研究論文だけでなく，新しい提案や問題提起など，さまざまな性格のオリジナル論文を歓迎します。
  - (4) 関心の高いテーマについて，チュートリアル講演，招待講演，パネル討論会などを予定しています。
  - (5) スケジュール

論文概要提出締切 平成4年6月19日(金)

採否通知 平成4年7月20日(月)までに通知

本論文提出締切 平成4年9月18日(金)

**連絡先・論文提出先** 情報処理学会 シンポジウム係

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3F Tel. 03(3505)0505 FAX 03(3584)7925



## 第12回 世界コンピュータ会議出席のおすすめ



第12回にあたる IFIP Congress '92 が、本年9月7日～11日にスペインのマドリッドにおいて、IFIP (情報処理国際連合) と FESI (スペイン情報処理協会連合) で共催されます。

IFIP (International Federation for Information Processing) は、自由主義圏から共産圏、先進国から発展途上国まで約70カ国の情報処理に関する技術的専門団体が参加している国際的な連合組織です。UNESCOの後援で1959年6月、第1回情報処理国際会議がパリで開催された際に基本構成が決定され、翌1960年1月に正式発足しました。加盟は1カ国1団体が原則ですが、発展途上国に対しては数カ国で1団体を構成することが認められています。1960年に情報処理学会が設立された目的の一つに、日本を代表して IFIP に加盟することがありました。

IFIP の活動の中の最も重要なものが、3年ごとに開催される世界コンピュータ会議です。第1回パリ大会以降各国で開催され、1980年には、東京で IFIP Congress '80 として、当学会が主催し、世界から2,300名の参加を得て、大きな成功を納め、1980年代の「情報処理技術の国際交流」へ大きな刺激を与えた実績があります。

とくに今回の IFIP Congress '92 は、最新の技術論文の発表のほかに、情報処理の企業経営に役立つチュートリアル、パネル、サブ会議、ワークショップ、会社視察訪問ならびに多彩な展示会が計画されております。大学等において教育・研究に携わる方々、企業トップの方々を始めハードウェアやソフトウェアの技術者・研究者の皆さまにとって、裨益するところが大きいと思われるます。

エレクトロニクスをめぐる、国際間に種々の軋轢が聞かれるときだけに、わが国からできるだけ多くの研究者が参加され、学术交流を通じて、国際親善につくされることは、誠に意義深いものと存じます。わが国からできるだけ多くの方々のご参加を期待いたします。

当学会としては、参加者の皆さまの便宜を計るため、登録手続代行、ホテル予約はもちろん低廉な出席ツアーや視察ツアーを JTB (日本交通公社) を Official Agent として計画いたしております。わが国から多数の方々が参加されるようご案内いたします。

参加の希望ならびに会議出席に関心のある方は、下記の担当までご連絡ください。詳しい資料をお送りいたします。また、4月ごろ Advance Program ができますので、その他情報とともにご案内いたします。

日本からの IFIP Congress '92 の参加申込は、情報処理学会を登録窓口 (JTB に業務委託) といたします。そのため、原則として直接スペインへの申込はご遠慮ください。その場合、送金手数料など登録に関わる費用はいただきますので、直接スペインへ申し込むより、費用がかからず確実に行えます。

期 日 1992年9月7日(月)～11日(金) (本学会)

会 場 The School of Medicine at the Complutense University of Madrid

日 程	5 (土)	6 (日)	7 (月)	8 (火)	9 (水)	10 (木)	11 (金)
	チュートリアル	チュートリアル	開会式 論文発表	論文発表 展示	論文発表 展示	論文発表 展示	閉会式 論文発表

### 会議参加費

	～May 4	～July 15	onsite
Regular fee	44,000 ペセタ	52,000 ペセタ	59,000 ペセタ
Student	16,000 ペセタ	21,000 ペセタ	26,000 ペセタ
Tutorials (each)	17,000 ペセタ	22,000 ペセタ	26,000 ペセタ

Tutorial は資料、昼食、コーヒー代を含む (ペセタ=約1.2円)  
2つのチュートリアル申込者は10% 割引

● 出席旅行：下記の5コースを考えております。旅行代金は概算の金額です。

- Aコース (会議出席短期間) 9月5日(土)～9月13日(日) 9日間  
旅行代金 500,000円
- Bコース (会議出席とバルセロナ) 9月5日(土)～9月13日(日) 9日間  
旅行代金 530,000円
- Cコース (会議出席とスペインハイライト) 9月5日(土)～9月18日(金) 14日間  
旅行代金 800,000円
- Dコース (会議出席と業務視察) 9月5日(土)～9月19日(土) 15日間  
旅行代金 900,000円
- Eコース (会議出席と自由視察) 9月5日(土)～9月18日(金) 14日間  
旅行代金 500,000円

● ホテルは、マドリッド大学近く(約3K)の5ツ星のデラックスホテル“HOTEL MIGUEL ANGEL”を確保してあります。

(問合せ先) JTB (日本交通公社) 海外旅行四谷支店 国際会議センター IFIP '92 デスク大窪・熊倉・高田  
160 新宿区四谷 2-12-5 第6 富澤ビル7 F Tel. 03 (5269) 1411 FAX 03 (5269) 1166

会 告

**INTERNATIONAL FEDERATION  
FOR INFORMATION PROCESSING**

**CONFERENCE ANNOUNCEMENT  
IFIP CONGRESS '92**



**12th WORLD COMPUTER CONGRESS MADRID-SPAIN September 7-11, 1992**

**STREAM (5 DAYS):  
SOFTWARE  
DEVELOPMENT  
AND MAINTENANCE**

**STREAM (5 DAYS):  
ALGORITHMS  
AND EFFICIENT  
COMPUTATION**

**STREAM (5 DAYS):  
FROM ARCHITECTURES  
TO CHIPS**

**STREAM (5 DAYS):  
INFORMATICS AND  
EDUCATION**

**STREAM (5 DAYS):  
THE VULNERABILITY OF THE  
INFORMATION  
SOCIETY: SOCIAL, LEGAL,  
AND  
SECURITY ASPECTS**

Specific areas of interest are:

- Programming environments and tools (design, implementation, and application)
- Formal methods
- Programme and system reusability
- Software development methodologies, practice, and experience
- Programming language design and usage
- Technology transfer

Specific areas of interest are:

- Data structures and graph algorithms
  - On-line algorithms
  - Computational geometry, computer graphics and robotics
  - Combinatorial optimization
  - Parallel algorithms and computation
  - Distributed computing
  - Novel computational models (including e.g. neural networks)
  - Computational learning
  - Complexity theory and cryptography
  - Symbolic computation
  - Continuous algorithms and their complexity
- And all related fields dealing with algorithm design and computational complexity.

Specific areas of interest are:

- Parallel and distributed computing
- Supercomputers
- Hardware/software dependability (fault tolerance, availability, reliability, safety, and security)
- Formal aspects of hardware design (formally based foundations, languages, tools, and methods for hardware design with practical application)
- VLSI design, design tools, CHDLs, frameworks and graphics
- Neural networks
- Performability (performance + reliability) modeling and evaluation.

Specific areas of interest are:

- The changing world of university computing services
- Courseware development
- Vocational education and training
- Teleteaching
- Research in the support of learners
- Knowledge-based systems in education
- Equity in computing
- Informatics education
- The situation in developing countries.

Specific areas of interest are:

- Opportunities and risks in the adoption of Information Technology.
- Legal aspects
- Reliability and security in personal computers and local area networks
- Impact of the vulnerability of information technology in the workplace and on the general public
- Identification and authentication of users and systems
- The Electronic Cottage: Delivering information and communication technologies to the home
- Computer ethics and professional responsibility
- Development of Information Technology at the International Level, especially in Latin America.

**REGISTRATION FEES**

Registration fees for Technical Programme in Spanish currency (pesetas) are:

	May 4	July 15	July 16 on-site
Regular fee	44.000	52.000	59.000
Students	16.000	21.000	26.000
Students without			

	proceedings	11.000	16.000	21.000
Tutorials (each)		17.000	22.000	26.000

(Tutorial fees cover documentation, lunch and coffee breaks. Registration for two tutorials has a 10% reduction).

**TECHNICAL VISITS**

Madrid and its surrounding region represent the main concentration of information

technology research and manufacturing facilities in Spain.

A programme of optional technical visits for delegates and accompanying persons will include various facilities and laboratories of:

- Alcatel
- ATT Microelectronics
- IBM
- Schools of Informatics and Telecommunications of the

Polytechnical University of Madrid.

- Telefónica Investigación y Desarrollo.
- Tres Cantos Technological Park.

**ACCOMMODATIONS, SOCIAL EVENTS AND TOURS**

A whole variety of accommodation options, ranging from first class hotels (about 28.000 ptas.

**INTERNATIONAL FEDERATION  
FOR INFORMATION PROCESSING**

**CONFERENCE ANNOUNCEMENT  
IFIP CONGRESS '92**



**12th WORLD COMPUTER CONGRESS MADRID-SPAIN September 7-11, 1992**

**SUBCONFERENCE (2 1/2 DAYS):  
EXPANDING THE POWER  
OF THE PERSONAL  
COMPUTER**

**SUBCONFERENCE (2 1/2 DAYS):  
ENHANCING THE  
INTELLIGENCE  
IN INFORMATION  
SYSTEMS**

**WORKSHOP (1 DAY) :**

**INFORMATICS FOR ENVIRONMENTAL  
PROTECTION**

Environmental protection is not only a high ranking social and political goal but also a great scientific and technological challenge. Effective environmental protection and research are largely dependent on accurate information on environmental state and dynamics. Computers have been an integral part of contemporary environmental protection information management and environmental research for some time. However, computer work in the environmental field has been mostly pragmatic without a sound scientific basis. Applied informatics can play a major role in developing a conceptual base for environmental information processing on solid scientific grounds. The purpose of this workshop is to present and discuss state-of-the-art applications of informatics in the environmental field. It mainly deals with environmental data bases and information systems, with visualization techniques for environmental data, with monitoring and image processing techniques, with geographical information systems, with environmental modelling software and with knowledge based systems for environmental protection.

**TUTORIALS**

To complement the broad-based technical programme, the following pre-Congress tutorials will be provided on September 5th and 6th.

- Supporting and Integrated Heterogeneous Environment.  
Bernard Levrat, University of Geneva (Switzerland) and Stephen D. Franklin, University of California Irvine (USA).
- Designing with VLSI Circuits.  
Raul Camposano, GMD/EIS and University of Paderborn (Germany).
- Computers, Privacy and Freedom.  
Lance Hoffman, George Washington University, Washington D.C. (USA).
- Detection and Elimination of Malicious Software (viri, trojans, etc.).  
Harold W. Highland, New York (USA).
- Information System Methodologies. A Framework for Understanding.  
T. W. Olle, T. W. Olle Associates (UK) and A.A. Verrijn Stuart, Leiden University (The Netherlands).
- Validation, Verification and Testing of Knowledge-Based Systems.  
J.P. Laurent, University of Savoie (France).

Any tutorial can be cancelled if its registration falls below 35 attendants. Tutorials Chair: Ramón Puigjaner (Spain).

会  
告

Specific areas of interest are:

- Man-machine interfaces (pen-based input devices...)
- End-user programming (visual programming, declarative programming...)
- Cooperative work (group interaction (work-flow automation...))
- LAN and WAN networking concepts for PCs
- Productivity environments for paperless office
- Multilingual multi-character set support
- Integration of multimedia
- Innovative database technologies for PCs
- Computer aided engineering.

Specific areas of interest are:

- Design criteria for intelligent systems
- Implementation problems and their solutions
- Culture and stage of development as factors in use of intelligent systems
- Frontiers in research and implementation

Single class (13,000, 10,000 ptas. double, 23,000 ptas. single) to be used for (before and after the Congress) and campus dormitories (500 ptas.) will be available through the Congress organization. Hotel registrations can be guaranteed if confirmed before May 1st. Social events include a welcome party and an optional Congress banquet at the Nelejo Palace.

An extensive sightseeing and touring programme (before, during and after the Congress) will offer the opportunity to get in touch with culture and history accumulated in Madrid and its surrounding area, including such interesting places as Toledo, Aranjuez, El Escorial, Segovia and Avila, and also organized excursions to the World Fair EXPO'92 in Seville.

なお、Invited SpeakerおよびPanel等、より詳しい「Advance Programme」は情報処理学会 IFIP Congress'92 係にありますので、必要な方は 72 円 切手同封にて下記へご請求ください。

・送付先

情報処理学会「IFIP Congress'92」係  
106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル  
Tel.03(3505)0505, FAX 03(3584)7925

**WORKSHOP AIFIPP 92**  
**Artificial Intelligence From the Information**  
**Processing Perspective**

Organized by IFIP Technical Committee 12

Sponsored by ECCAI (European Coordination Committee of Artificial Intelligence)  
through AEPIA (Asociación Española Para la Inteligencia Artificial)

Madrid, 14-15 September 1992

Call for papers

Contributions are welcome in the topics:

- Historical aspects of the relationships Artificial Intelligence/Information Processing.
- Integrated applications of KBS and information systems.
- KBS in software engineering.
- Architectures for KBS implementation.
- Comparative aspects of programming methodology and knowledge acquisition methodology.
- Comparative aspects of program transformation and KBS transformation (learning).
- Comparative aspects of KBS validation and program validation techniques.

INSTRUCTIONS TO AUTHORS:

Four copies of submitted papers (not exceeding 6000 words, i.e. approximately 14 pages in A4 camera-ready format) should reach the Workshop Organizing Group Secretary at the address below by May 31, 1992.

AIFIPP'92 Working Group Secretary:

José Cuenca  
Departamento de Inteligencia Artificial  
Facultad de Informática  
Universidad Politécnica de Madrid  
Campus de Montegancedo s/n  
28660 - Boadilla del Monte (Madrid)  
Tf: (34-1) 352-48-03  
Fax: (34-1) 352-48-19

Location of the Workshop:

Facultad de Informática  
Universidad Politécnica de Madrid  
Campus de Montegancedo s/n  
Boadilla del Monte (Madrid)

詳細は、京都大学工学部情報工学科 堂下 修司へ問い合わせして下さい。  
(606-01 京都市左京区吉田本町 Fax: 075-753-5977)

## PRELIMINARY CALL FOR PAPERS

**IMSA'92[\*] INTERNATIONAL WORKSHOP ON  
REFLECTION AND META-LEVEL ARCHITECTURE  
Tokyo, November 4-7, 1992**

**Objectives:**

Over the last 10 years, Reflection and Meta-Level Architectures have attracted the attention of researchers throughout computer science. Reflective and meta-level techniques have now matured to the point where they are being used to address real-world problems in the design and implementation of languages and systems. This workshop is intended both as a forum for presenting current research results in these areas, and as an opportunity to review and synthesize the results of this decade of research, with the aim of delivering these techniques to the the community at large. In addition to paper presentations, time will be reserved for intensive discussions on topics ranging from conceptual foundations to practical applications. Papers will be accepted on topics including, but not limited to, the following:

- \* the design and analysis of meta-level programming languages
- \* reflection and meta-level design in object-oriented systems
- \* experience with reflection in practical settings
- \* performance issues in the use of reflective techniques
- \* meta-level techniques and software methodology
- \* theoretical foundations

Papers will be reviewed by the program committee; acceptance will be based on depth, quality, relevance, and scope. Accepted papers will be published in the workshop proceedings.

**Paper Submission:**

Five physical copies of an extended abstract (5000 words maximum) of an original manuscript should be submitted, no later than May 15, 1992, to either of:

Akinori Yonezawa  
Dept. of Information Science  
Faculty of Science  
The University of Tokyo  
Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo  
Japan, 113

Brian Cantwell Smith  
Xerox Palo Alto Research Center  
3333 Coyote Hill Road  
Palo Alto, California 94304  
United States of America

**Important Dates:**

Extended abstract submission — May 15, 1992  
Notification of acceptance — July 31, 1992  
Full paper, camera-ready copy — September 15, 1992

**Post-Workshop Book Publication:**

In addition to the proceedings, a book will be published after the workshop consisting of those papers that are of the highest technical and/or tutorial significance, and that best represent the current state of the art.

**Program Co-Chairs:** Akinori Yonezawa (Univ. Tokyo)

Brian Cantwell Smith (Xerox PARC)

**Program Committee:** Hal Abelson (M.I.T.)

John Batali (U. California, San Diego)

Daniel Bobrow (Xerox PARC)

Pierre Cointe (Rank Xerox)

Peter Deutsch (Sun Microsystems Labs)

Dan Friedman (Indiana Univ.)

Yutaka Ishikawa (ETL)

Gregor Kiczales (Xerox PARC)

Satoshi Matsuoka (Univ. Tokyo)

Mario Tokoro (Keio Univ.)

**Sponsor:** Research Institute of Software Engineering (RISE), Japan  
Information-Technology Promotion Agency (IPA), Japan

**Cooperation:** ACM Sigplan (under negotiation)  
Japanese Society of Software Science Technology  
Information Processing Society of Japan

[\*] International Symposium and Workshop on New Models for Software Architecture, a RISE Symposium/workshop series.

## ACM, IEEE-CS 入会の特典

情報処理学会は ACM と Joint membership, IEEE Computer Society (CS) とは affiliate membership (準会員) の契約をそれぞれ結んでいます。しかし、その内容あるいは特典は少々趣を異にしますので、比較説明いたします。入会申込書は学会事務局にありますのでご利用ください (郵送希望の際は 72 円切手を同封ください)。

ACM 入会特典	IEEE-CS 入会特典
正会員会費 (US\$ 75) が 2 割引 (US\$ 60) になります。 ● Communication of the ACM (月刊) の配布。 ● ACM の journal や transactions などの刊行物を会員価格で入手できる <sup>#1)</sup> 。 ● ACM の conference は会員参加費で参加できる。 ● Special Interest Groups (SIGs) に会員参加費で加入できる。	正会員入会の特典はありません。(正会員会費 US\$ 97) <hr/> 準会員の特典があります。(準会員会費 US\$ 54) ● COMPUTER Magazine (月刊) の配布。 ● CS の conference は正会員参加費です。 ● CS の Magazine, Transactions などの刊行物は正会員価格で入手できる。(ただし Spectrum は除く) <sup>#2)</sup> ● Technical Committee に参加できる。 その他の特典 ● 準会員にならない場合でも情報処理学会会員は所定の割引価格で CS の Magazine, Transactions を購入可 <sup>#2)</sup> 。
準会員 (affiliate member) の制度はありません。	

注 1) ACM の主要刊行物

Communication of the ACM	(月刊)	(会費に含む)
Computing Surveys	(季刊)	US\$ 15.00
Journal of ACM	(季刊)	22.00
Computing Reviews	(月刊)	34.00
ACM Guide to Computing Literature	(年刊)	97.00
Transactions on :	(季刊)	
Mathematical Software/TOMS		26.00
Database Systems/TODS		25.00
Programming Languages and Systems/TOPLAS		24.00
Graphics/TOG		30.00
Office Information Systems/TOOIS		26.00
Computer Systems/TOCS		26.00

注 2) IEEE-CS の主要刊行物

Magazine :	会員/準会員	情処学会
	(会費に含む)	割引価格
Computer	(月刊)	—
Computer Graphics & Applications	(隔月刊)	US\$ 25.00 39.00
Design & Test of Computers	(季刊)	22.00 39.00
Expert	(隔月刊)	20.00 36.00
Micro	(隔月刊)	23.00 38.00
Software	(隔月刊)	25.00 39.00
IEEE Annals of the History of Computing	(季刊)	16.00 39.00
Transactions on :		
Computers	(月刊)	24.00 39.00
Pattern Analysis and Machine Intelligence	(月刊)	24.00 39.00
Software Engineering	(月刊)	22.00 39.00
Knowledge and Data Engineering	(季刊)	19.00 27.00
Parallel and Distributed Systems	(季刊)	19.00 26.00



情報処理学会シンポジウム、講習会論文集リスト (88, 89, 90, 91 年版)

研究会名	( 論文集名 )	開催日	値段 (消費税込)・送料	申込
(シンポジウム)				
DBS	アドバンスト・データベース・システム	88・12	¥30000 ¥4000	
AI	知識のリフォーメーション	91・11	¥50000 (送料込)	
MIC	マイクロコンピュータとワークステーション による卓上出版とネットワーク	88・11	¥25000 ¥4000	
ARC	マイクロコンピュータアーキテクチャ	91・11	¥40000 (送料込)	
	コンピュータアーキテクチャ	88・5	¥35000 ¥4000	
	並列処理“JSPP89” ☆	89・2	¥40000 ¥4000	
	並列処理“JSPP91” ☆	91・5	¥50000 (送料込)	
OS	コンピュータ・システム	91・3	¥50000 (送料込)	
CV	コンピュータビジョン90 ☆	90・8	¥45000 (送料込)	
	～ビジョンと環境理解～			
DA	DAシンポジウム'91	91・8	¥40000 (送料込)	
DPS	マルチメディア通信と分散処理	88・12	¥25000 ¥4000	
	B-I SDN時代におけるマルチメディア通信 と分散処理	91・11	¥40000 (送料込)	
HI	計算機システムのヒューマンインターフェース	88・4	¥35000 ¥4000	
CG	グラフィクスとCAD	91・11	¥50000 (送料込)	
	研究会設立10周年記念CG作品集	91・11	¥50000 (送料込)	
IS	利用者指向の情報システム	88・6	¥35000 ¥4000	
	利用者指向の情報システム	91・11	¥50000 (送料込)	
FI	1989情報学	89・1	¥50000 ¥4000	
	1990情報学	90・1	¥50000 ¥4000	
	1992情報学	92・1	¥50000 (送料込)	
CE	教育における知的方法 ☆	88・11	¥30000 ¥4000	
	情報専門学科のコアカリキュラム	91・12	¥50000 (送料込)	
(講習会)	—その内容と問題点—			
DBS	アドバンスト・データベース・システム ☆	91・12	¥50000 (送料込)	
AI	知識ベースシステムにおける高速推論技術	92・2	¥40000 (送料込)	
DPS	コンピュータ通信ワークショップ	89・7	¥50000 (送料込)	
	コンピュータ通信ワークショップ	91・7	¥60000 (送料込)	
SE	ソフトウェア工学の現状と動向 ☆	88・6	¥30000 (送料込)	
	ソフトウェア工学の現状と動向 ☆	88・12	¥30000 (送料込)	
CG	立体視技術とその最先端応用	89・9	¥25000 ¥4000	
	人物のモデリングと表示技術	91・9	¥40000 (送料込)	
PS	第30回プログラミング・シンポジウム	89・1	¥30000 ¥4000	
	第31回プログラミング・シンポジウム	90・1	¥30000 ¥4000	
	第32回プログラミング・シンポジウム	91・1	¥40000 (送料込)	
	第33回プログラミング・シンポジウム	92・1	¥50000 (送料込)	
PSS	卓上出版	88・7	¥30000 ¥4000	
	コンピュータネットワークのヒューマンウェア	89・7	¥30000 ¥4000	
	計算機教育	91・7	¥50000 (送料込)	

注) ☆は残10冊未満  
 問い合わせ申込み先: 情報処理学会 図書係 野寺 Tel. 03-3505-0505 Fax. 03-3584-7925  
 請求書 通, 見積書 通, 納品書 通 ; 請求先  
 Tel. ( ) -

合計金額¥

連絡先

☎ \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_ 様

平成 年 月 日

## 支部だより

## 平成4年度支部総会について

各支部の通常総会が下記のとおり開催されますので、ぜひご出席ください。なお、各支部総会の案内状は、支部内の正会員各位に別途郵送されますが、ご欠席の場合には必ず委任状をご返送ください。

支 部	日 時	会 場	講 演 会
北 海 道	4月24日(金) 17:00~18:00	北海道大学学術交流会館 (札幌市北区北8条西5丁目)	(情報処理北海道シンポジウム '92 9:00~17:00) 13:00~14:30 情報システムの内と外 関口恭毅(北大)
東 北	5月8日(金) 14:00~15:00	東北大学工学部電気情報系 (仙台市青葉区荒巻字青葉)	15:20~17:00 我国における基礎研究について 畚野信義(郵政省・通総研)
東 海 (中部名称 変更)	5月11日(月) 13:00~14:30	愛知厚生年金会館 (名古屋市千種区池下町 2-63)	中部支部設立10周年記念式典を同時開催 15:30~18:00 認知機能の脳内メカニズム 酒田英夫(日大) 情報処理は変わったか 福村晃夫(中京大)
関 西	未定(5月中旬)	(詳細は支部正会員に別途連絡します)	
中 国	5月15日(金) 14:30~15:00	中国電力(株)1号館2階大会議室 (広島市中区小町 4-33)	15:00~16:30 最近の天気予報と気象情報サービス ——天気予報におけるコンピュータの 応用—— 森本陸世(日本気象協会)
四 国	4月17日(金) 14:30~15:00	南海放送本町会館 (松山市本町 1-1-1)	15:00~16:00 マルチメディア処理技術の動向について 荒川弘熙(NTTデータ)
九 州	5月8日(金) 13:30~14:30	九州大学大型計算機センター 多目的講習室 (福岡市東区箱崎 6-10-1)	14:30~16:00 ①情報処理学会九州支部10年のあゆみ ②情報専門学科におけるコア カリキュラムについて 牛島和夫(九大)
北 陸 (設立総会)	4月17日(金) 14:00~15:00	金沢大学工学部秀峯会館 (金沢市小立野 2-40-20)	15:30~16:30 ワークステーションとアカデミック ネットワーク 副会長 石田晴久(東大)

**東北支部 支部大会講演募集**——平成4年度電気関係学会東北支部連合大会——

**期 日** 平成4年8月20日(木), 21日(金)

20日(木) 午前: 一般講演・技術報告

午後: 一般講演・技術報告, 特別講演 夜: 懇親会

21日(金) 一般講演・技術報告

20, 21日の両日 展示会(計測機器, 電子通信機器, 電力機器他)

**会 場** 山形大学工学部キャンパス(992 山形県米沢市城南 4-3-16, JR 奥羽本線米沢駅よりタクシー約15分)

**講演内容** 一般講演 各専門分野で最近行った研究の発表

技術報告 各専門分野で最近行った工事報告, 現場実験報告, 新製品の紹介等, 特に現場に直結した実験研究の発表

講演者は, 主催学会会員に限る. 連名の場合は会員外を含むことも差支えない. 講演時間は, 1件15分以内(討論時間を含む)とする.

**申込方法** (1) 「講演申込書」は申出により「原稿用紙1,600字」「原稿の書き方」と共に渡す. 郵送希望の場合は1~2件175円, 3~6件250円, 7~13件360円, 14件~670円分の切手を添えること.

(2) 一般講演及び技術報告の予稿集はオフセット印刷とするので, 必ず所定の原稿用紙を使用すること.

(3) 申込件数の制限は1名2件までとする. ただし連名は差支えない. 内容が著しく不適当と思われる場合, 講演を制限する場合がある.

(4) 発表者は講演申込と同時に必ず講演申込金として1件につき3,000円を添えて申込むこと.  
(論文集代, 別刷50部を含む)

(5) OHPを講演各室に準備する.(希望によりスライドも可)

**申込・原稿締切日** 6月26日(金) 必着厳守(申込書と原稿を同時締切とする)

**論文集** 発表者には, 大会当日受付にて配布する. 購入希望者は, 所要部数を早めに申込むこと(1部2,500円, 郵送希望の場合は, 郵送料1部510円)

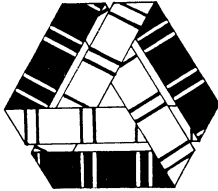
**申込・問合せ先** 980 仙台市青葉区荒巻字青葉 東北大学工学部電気情報系学科内  
電気関係学会東北支部連合事務局 Tel. 022(222)1800(内4312) 後藤

**懇親会** 8月20日(木) 18:00~20:00 場所 東京第一ホテル米沢 会費3,000円

申込は当日大会会場で受付けます.

**宿 泊** とくに斡旋しない.

### 会議案内



各会議末のコードは、整理番号です (\*: 本年既掲載分, \*\*: 昨年既掲載分). 会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 72 円を同封のうえ、請求ください。(国内連絡先が記載されている場合は除く.)

1. 開催日, 2. 場所, 3. 連絡, 問合せ先, 4. その他

### 国際会議

#### スーパーコンピューティングジャパン 92

(014)

1. 1992年4月22日(水)~24日(金)
2. パシフィック横浜
3. 主催: メリディアン パシフィック グループ インク  
問合せ先: ヴァンガードインターナショナル(株)  
内 日本事務局 Tel. 03 (5496) 9411,  
FAX 03 (5496) 9417

#### The 1st Conf. on Freedom of Information: Towards Open Government in the New Democracies

(015)

1. May 4-7, 1992
2. Budapest, Hungary
3. John von Neumann Society for Computing Sciences  
Hungary Budapest Bathori u. 16 H-1054  
Tel. 361 1329 349 • 361 1329 390,  
FAX 361 131 81 40, Telex: 22 5792 neumann

#### Avignon '92—12th Int'l. Conf. Artificial Intelligence Expert Systems Natural Language

(016)

1. June 1-6, 1992
2. Avignon, France
3. Jean-Claude Rault EC2 269, rue de la Garenne  
92024 Nanterre Cedex France  
Tel. (33.1) 47 80 70 00, Telex: 612 469,  
Telefax: (33.1) 47 80 80 66 29

#### 2nd Int'l. Conf. on Fuzzy Logic & Neural Networks—第2回ファジィ論理と神経ネットワークに関する国際会議

(\*\*081)

1. 1992年7月17日(金)~22日(水)
2. 九州寿会館(福岡県飯塚市)
3. (財)ファジィシステム研究所気付 国際会議組織委員会  
Tel. 0948 (24) 2771, FAX 0948 (24) 3002
4. 参加申込締切: 1992年6月1日(月)

#### CONPAR 92-VAPP V

(017)

1. September 1-4, 1992

2. France
3. Ecole Normale Supérieure de Lyon Laboratoire de l'Informatique du Parallélisme 46, allée a'Italie, 69364 Lyon Cedex 07, France  
Tel. +33/72/72/80/37, fax +33/72/72/80/80, e-mail conpar 92 @ frensl 61. bitnet

#### DARS '92: Distributed Autonomous Robotic Systems — 自律分散型ロボットシステムに関する国際シンポジウム

(018)

1. 1992年9月21日(月)~22日(火)
2. 理化学研究所(埼玉県和光市広沢)
3. 理化学研究所化学工学研究室 浅間 —  
Tel. 0484 (62) 1111 (ext. 3144)  
FAX 0484 (62) 4658
4. 論文要旨締切: 1992年4月30日

#### ECOC '92—18th European Conf. on Optical Communication

(019)

1. September 27-October 1, 1992
2. Berlin, Germany
3. Heinrich-Hertz-Institut Einsteinufer 37 D-1000 Berlin 10, Germany  
Tel. (+49) 30 31002 399/325, Telex: 185 995 hhi d,  
Telefax (+49) 30 31002 559

#### Int'l. Workshop on Reflection and Meta-Level Architecture

(020)

1. 1992年11月4日(水)~7日(土)
2. CSK 情報教育センター(東京都多摩市)
3. 東京大学理学部情報科学科 米澤 明憲  
Tel. 03 (3812) 2111 (内線: 4108)  
E-mail. yonezawa@is.s.u-tokyo.ac.jp
4. 論文締切: 1992年5月15日

#### MVA '92: IAPR Workshop on Machine Vision Applications — マシンビジョン応用に関する IAPR 国際ワークショップ

(021)

1. 1992年12月7日(月)~9日(水)
2. 日本電気本社ビル(東京)
3. 論文送付先: 106 東京都港区六本木 7-22-1  
東京大学生産技術研究所 第3部 高木 幹雄  
Tel. 03 (3479) 0289, FAX 03 (3402) 6226
4. 論文要約締切: 1992年6月30日

#### ETC 93—European Test Conf.

(022)

1. April 19-24, 1993
2. Rotterdam, The Netherlands
3. Jacques Kevers, ETC 93 Secretariat IEEE Computer Society 13 Avenue de l'Aquilon B-1200 Brussels, Belgium  
Tel. +32-2-770-22-42, FAX +32-2-770-85-05
4. Deadline for submissions: September 11, 1992

#### CONSULTEX CHINA '93—The World Consultancy Services Conf.

(023)

1. April 25-30, 1993
2. Beijing, China

- Ms. Fang Jin: Room 6006 Beijing International Convention Center Asian Games Village Beijing 100101, China  
Tel. (861) 831-3335・831-3172, Fax: (861) 831-6091, Tlx: 222337 ICCST CN
- The deadline for submission of abstracts: November 30, 1992

### VIDEA 93—Int'l. Conf. Visualization and Intelligent Design in Engineering and Architecture (024)

- April 27-29, 1993
- Southampton, UK
- 主催: ワセックス工科大学計算機械学研究所  
国内連絡先: 東京大学理学部情報科学科 國井 利泰  
Tel. 03 (3812) 2111 (内 4116)  
FAX 03 (3818) 4607

### Australia-Japan Workshop on Stochastic Models in Engineering, Technology & Management (025)

- July 14-16, 1993
- Gold Coast (Australia)
- 広島大学工学部 尾崎 俊治 Tel. 0824 (22) 7111 (内線: 3478), FAX 0824 (22) 7195
- アブストラクト締切: 1992年6月

### HCI Int'l. '93—5th Int'l. Conf. on Human-Computer Interaction (026)

- August 8-13, 1993
- Orlando, Florida, U. S. A.
- HCI International '93 School of Industrial Engineering Purdue University 1287 Grissom Hall West Lafayette, IN 47907-1287 USA
- Deadline for Abstract Receipt: November 15, 1992

### COMMP '93—Int'l. Conf. on Computer-assisted Materials Design and Process Simulation (\*\*065)

- 1993年9月6日(月)~9日(木)
- 日本都市センター(東京都千代田区平河町)
- 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階  
(社)日本鉄鋼協会 国際室 COMMP '93 担当 佐藤, 安藤, 鈴木  
Tel. 03 (3279) 6021, FAX 03 (3245) 1355
- Abstract 締切: 1992年9月14日(月)

## 国内会議

### 第5回「学協会共通問題に関する討論会」

- 1992年4月22日(水)
- 鹿島建設 KI ビル(東京都港区赤坂)
- (社)日本工学会 Tel. 03 (3475) 4621  
FAX 03 (3403) 1738
- テーマ: (1)日本複写機センター発足と学協会の対応(仮題), (2)科学情報と学協会(仮題)  
参加費: 1,000円

### 第47回 産業用ロボット利用技術講習会

- 1992年4月23日(木)~24日(金)
- 名古屋市工業研究所(熱田区六番)
- (社)日本産業用ロボット工業会  
Tel. 03 (3434) 2919, FAX 03 (3578) 1404
- 参加料: 会員 23,000円, 一般 26,000円

### ローマ・クラブ福岡会議イン九州

- 平成4年5月12日(火)~14日(木)
- ホテル日航福岡(福岡市)
- 「ローマ・クラブ福岡会議イン九州」実行委員会事務局  
Tel. 092 (733) 5030, FAX 092 (733) 5033
- 参加費: 無料

### '92 新素材展併設セミナー・シンポジウム

- 平成4年5月19日(火)~22日(金)
- 幕張メッセ(千葉市中瀬)
- 日本経済新聞社 事業局総合事業部「'92新素材展」事務局  
Tel. 03 (3243) 9082, FAX 03 (3243) 9086

### 平成4年度第1回 定例講演会「地球温暖化防止のための経済政策」

- 平成4年5月28日(木)
- (財)電力中央研究所(東京都千代田区大手町)
- (社)日本オペレーションズ・リサーチ学会  
Tel. 03 (3815) 3351, FAX 03 (3815) 3352
- 参加費: 正会員 2,000円, 学生会員 1,000円, 非会員 3,000円

### 第186回 講習会「実用化を迎えたニューロ技術」

- 平成4年5月28日(木)
- 中央大学駿河台記念館(東京都千代田区神田駿河台)
- (社)精密工学会 Tel. 03 (3362) 1979  
FAX 03 (3367) 0994
- 参加費: 会員 28,000円, 非会員 42,000円, 学生無料

### 第187回 講習会「CIM の設計と構築」に関する方法論と実践について

- 平成4年6月9日(火)
- 中央大学駿河台記念館(東京都千代田区神田駿河台)
- (社)精密工学会 Tel. 03 (3362) 1979  
FAX 03 (3367) 0994
- 参加費: 会員 27,000円, 非会員 42,000円

### Computer Graphics Osaka '92

- 1992年6月10日(水)~13日(土)
- マイドームおおさか, 他
- (社)日本能率協会 関西地域本部内 CG Osaka 事務局  
Tel. 06 (261) 7151, FAX 06 (261) 5852
- 入場料: 1,500円

### システム制御情報チュートリアル講座イーブニングスクール「ニューラルネットワークの基礎と計測・制御への応用」

- 1992年6月22日(月), 23日(火), 26日(金), 29日(月), 30日(火)
- 大阪マーチャндаイズマートビル(大阪市中央区京橋)
- システム制御情報学会 チュートリアル講座係  
Tel. 075 (751) 6413, FAX 075 (751) 6037
- 聴講費: 会員 30,000円, 学生 20,000円, 非会員 40,000円

### セミナー「開け行く“人工現実感”の世界」

- 1992年7月10日(金)
- なにわ会館(大阪市天王寺区石ヶ辻町)
- システム制御情報学会 セミナー係  
Tel. 075 (751) 6413, FAX 075 (751) 6037
- 参加費: 会員 20,000円, 学生 10,000円, 非会員 30,000円

**第29回 サマーセミナー「情報光学」—光技術の新展開をめざして—**

1. 平成4年9月1日(火)~3日(木)
2. 支笏湖畔国民休暇村(北海道・千歳市)
3. 主催:日本光学会  
問合せ先:(社)応用物理学会内 日本光学会サマーセミナー係 Tel. 03 (3238) 1043
4. 参加費:会員 31,000円, 学生 10,000円, 一般 33,000円

**「情報理論とその応用学会」第15回 シンポジウム**

1. 平成4年9月8日(火)~11日(金)
2. 松の井ホテル(群馬県利根郡水上町)
3. 沖電気工業(株)通信システム研究所 鈴木 孝夫  
Tel. 03 (3454) 2111 (内 2775)  
FAX 03 (3798) 7606
4. 発売・参加申込締切:平成4年4月30日(木)

**第35回 自動制御連合講演会**

1. 1992年10月28日(水)~30日(金)
2. 岡山カルチャーホテル(岡山市学南町)(予定)
3. システム制御情報学会  
Tel. 075 (751) 6413, FAX 075 (751) 6037

**NICOGRAPH '92—コンピュータ・グラフィックス総合展**

1. 平成4年11月9日(月)~13日(金)
2. 池袋サンシャインシティコンベンションセンター TOKYO, 他
3. (社)日本コンピュータ・グラフィックス協会  
Tel. 03 (3233) 3475, FAX 03 (3233) 3450

**教官募集**



**○大学等情報関係教官募集**

**信州大学教養部・情報科学**  
 募集人員 講師または助教授1名  
 専門分野 文系, 理系を問わないが, 情報処理教育の経験を有することが望ましい.  
 着任時期 平成4年10月1日  
 提出書類 1) 履歴書, 2) 健康診断書(国公立病院または保健所発行), 3) 研究業績リスト(詳細な審査を希望するもの3編に印をつけ, その概要も提出), 4) 著書, 論文等の別刷またはコピー, 将来の研究計画(2,000字以内), 5) 一般教育としての「情報科学」の内容と授業計画, 6) 推薦状または意見を求めることのできる方2名の連絡先.  
 応募締切 平成4年5月30日  
 送付先 390 松本市旭 3-1-1 信州大学教養部長宛  
 「情報科学教官応募」と朱書き, 書留.  
 問合せ先 信州大学教養部 真野倅一  
 0263 (35) 4600 (内 7187)  
 その他 着任後は, 松本市近郊に居住できること.

**愛媛大学教養部情報科学科**

募集人員 講師または助教授1名  
 所属 愛媛大学教養部情報科学研究室  
 専門分野 情報科学  
 応募資格 大学院修士課程卒業またはこれと同等以上の研究業績がある者.  
 着任時期 平成4年10月1日  
 提出書類 履歴書(連絡先明記), 研究業績リストおよび論文別刷, 研究概要と研究計画, できれば推薦状があることが望ましい.  
 応募締切 平成4年5月31日  
 送付先 790 松山市文京町3番  
 問合せ先 愛媛大学教養部情報科学研究室 森作常生  
 0899 (24) 7111 (内 3921, 3920)

**千葉大学工学部共通講座**

募集人員 教授1名  
 所属 工学部共通講座数理科学講座(情報処理分野)  
 専門分野 情報処理, 情報数理  
 応募締切 平成4年6月1日  
 着任時期 できるだけ早い時期  
 提出書類 (1)履歴書, (2)研究業績一覧表, (3)論文別刷り(主要なもの), (4)主要な論文の概要, (5)応募者の研究業績を理解している方2名の名前と所属機関  
 送付先 260 千葉市弥生町 1-33  
 千葉大学工学部共通講座 河原田秀夫  
 「教官応募」と朱書き書留)  
 問合せ先 千葉大学工学部共通講座 河原田秀夫  
 または 大高一雄 Tel. 0472 (51) 1111  
 (内 2888 (河原田), 2885 (大高))

**広島市立大学(仮称)(平成6年4月開学予定)**

基本理念 科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学をめざす.  
 学部構成 国際学部(140名), 情報科学部(220名), 芸術学部(80名)  
 設置場所 広島市安佐南区沼田町大塚地内(広島西部丘陵都市学術・研究団地)/新交通システム(平成6年開業予定)で市中心部から約35分  
 募集人員 情報科学部/教授, 助教授, 助手, 各学科若干名  
 所属学科 (講座)  
 ①情報数理学科(情報数理学, 計算機構学, 情報論理学, ソフトウェア工学など)  
 ②情報工学科(機能デバイス学, 論理回路学, コンピュータシステム, プログラム工学など)  
 ③知能情報システム工学科(知識工学, 推論機構学, 自然言語処理学, 知能システムなど)  
 ④情報機械システム工学科(情報機械素子, 知的制御理論, 知能ロボット, 設計工学など)  
 応募資格 ①教授, 助教授  
 博士の学位(取得見込みを含む)を有する者か, これと同等の能力があると認められる者で, 上記専門分野で, 研究業績又は技術開発業績のある者. なお, 開学4年後, 大学院の設置を予定しており, 大学院においても教育と研究指導にあたれることが望ましい.

②助手  
 修士以上の学位（取得見込みを含む）を有する者か、これと同等の能力があると認められる者。  
 採用時期 平成6年4月から平成9年3月（年次計画により採用）

応募締切 平成4年7月末日  
 問合せ先 730 広島市中区国泰寺町 1-6-34  
 広島市企画調整局市立大学設立準備室  
 Tel. 082 (245) 2111 (内 2174)  
 (大学概要, 応募要領を送付します。)

## 雑報



### ○平成5年度基礎科学特別研究員募集

採用予定 25名  
 受入機関 理化学研究所  
 募集分野 物理学, 化学, 生物学, 工学の各分野で, 理化学研究所で実施可能な研究  
 応募資格 原則として平成5年4月1日現在35歳未満の健康な者で, 博士号取得者又はこれと同等の研究能力を有すると認められる者。  
 待遇等 ①謝金 月額485千円程度(社会保険料, 税込)  
 ②通勤費 実費(上限30千円/月)  
 ③住宅費 家賃の一部支給  
 以上のほか, 研究費として1,370千円/年程度  
 契約期間 通算3年間を限度し, 毎年度所要の評価により契約更新  
 募集締切 平成4年6月25日(木)必着。応募者は6月5日(金)までに問合せのこと。  
 その他 本件は関係予算の成立を前提としており, その事情により変更があります。  
 問合せ先 351-01 埼玉県和光市広沢 2-1  
 理化学研究所研究業務部基礎科学特別研究員担当  
 Tel. 0484 (62) 1111 (内 2451~2),  
 0484 (63) 3687 (直)

### ○島津科学技術振興財団「平成4年度研究開発助成および海外研修研究援助応募要綱」

#### 研究開発助成

助成対象 科学技術, 主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究を対象とする。ただし, 助成対象者は原則として45歳以下とする。  
 助成内容 上記研究に対し, 助成金を交付する。援助金総額2,200万円, 1件につき250万円ないし100万円。  
 応募方法 財団所定の研究開発助成申込用紙に必要事項を記入して, 当財団に直接申込む。申込締切は9月30日とする。  
 選考審査方法 当財団に設置する選考委員会が選考し, 理事会が審議し決定する。  
 交付方法 平成5年2月(予定)に開く贈呈式において助成金を交付する。

#### 海外研修研究援助

援助対象 科学技術に関する海外の研究集会に研究発表のため出席する研究者および海外留学生を援助の対象とする。ただし, 援助対象者は原則として40歳以下とする。  
 援助内容 援助件数: 36件程度(1件15万円程度)  
 応募方法 財団あて照会のこと, 申込期限: 4月, 7月, 10月, 1月それぞれ末日(年4回)  
 連絡先 (財)島津科学技術振興財団事務局  
 604 京都市中京区西ノ京下合町 11  
 Tel. 075 (823) 3240

#### ○「基礎研究の振興と工学教育」シンポジウム報告

平成3年11月27日(水), 東京・赤坂の鹿島KIビル地下大会議室において, 日本工学会主催による標記シンポジウムが400余名の参加者を集め開催された。

主催者である「日本工学会」は明治12年11月18日に「工学会」として創立されたわが国最古の工学系学会で, 現在82学協会・所属会員54万人により構成されている社団法人であり, わが国が技術立国としての発展をみた礎を担った由緒ある工学系学会の名家である。

このたび開催された当シンポジウムは, かねてより脆弱化が伝えられているわが国の大学工学教育の再生のための諸策を討議, 工学界共通の議題に昇華させるための試みであって, サブタイトルは「大学の改革と学術法人活性化を目指して」である。

予想を上回る多数の参加者は二十代の若者から八十代の先達まで多彩であって, 石川会長の開会の辞から今泉副会長による閉会の辞に至るあいだ退席する者もなく, 向坊講師による基調講演から始まった全プログラムは, それぞれのセッションごとに配された座長が司会とコメントータを兼ねて与えられた課題に華を添えるなど充実した構成をとっていた。

演題は「わが国の工業教育の諸問題」・「日本の工業と工学の将来」・「大学の活性化への提言」・「大学の活性化を願って」・「21世紀をリードする大学へ望む」・「大学の改革と学術法人活性化」である。

平成3年10月8日に(株)経済団体連合会によって「21世紀をめざした研究開発体制の確立を望む—大学, 国立試験研究機関の充実と, 科学技術分野の国際貢献のために—」が発表されたが, その冒頭に“国は, 将来に対する備えを怠っている”と銘記されている。今回のシンポジウムで討議された諸々の課題はほぼこの一点に収斂されるように思えるが, 明治以降100年に及ぶ近代工学教育の蓄積の上に花開いた今日の<技術王国日本>の明日が後継者の育成という点で転換期に至ったことを確認しつつ, その将来展望をどのように描くべきかを工学関係者が一堂に会して模索した嚆矢と位置づけられよう。

(土木学会 河村忠男)

## 編集室



### 事務局日より

第44回全国大会が3月18日～20日に、昨年新築された明治大学理工学部（生田校舎）で開催されました。大会は疋田、石塚両先生をはじめとする現地委員会の絶大なご援助とご骨折りをいただき、成功裡に終了いたしました。厚くお礼申し上げます。大会における発表件数は1,038件、参加者2,336名でしたが、参加者が毎年の東京地区に比べて少なかったのは、初日が雪のせい、最近の経済情勢の厳しさからか、春の彼岸と重なったためか、理由ははっきり掴めませんでした。

第45回全国大会は10月12日～14日、徳島大学で開催する計画で、講演申込みが開始されます。会員の皆さまの発表申込みと参加をお待ちしております。

年度末の最大行事の全国大会が無事終了し、今月は当学会の新年度開始月です。本年度の具体的な活動計画については、すでに学会誌の会告等で事前にお知らせを始めておりますのでご覧ください。

学会活動にも人、物、金＋情報が必要ですが、学会活動の中心となる人がボランティア方式のためか、金の話をしますとどうも不評のようですが、ご高承のように学会活動を活性化し、活発化していく資金を得るためには、どうしてもついてくる課題です。そこで、学会としての特徴と良さを保ちつつ、活動資金を確保していくことが必要と考えています。その一つとして、昨年度から始められた連続セミナーがあります。本年度は「21世紀に生き残るコンピューティングは何か？」を主題に、会場を工学院大学（東京西新宿）とし、5月14日から隔月に連続6回開催されます。会告で詳細をご覧ください。ご参加ください。また、会員外の方々にもお薦めいただければ幸いです。（文責 飯塚浩司）

## 訂 正

本誌前号（第33巻3号（1992））p. 271に掲載されました解説「小型電子部品組立における CIM と MAP の応用例」の著者紹介欄中、中野宣政氏と井下雄右氏の写真を入れ違えてしまいました。心からお詫び申し上げますと共に訂正いたします。



中野 宣政（正会員）

昭和17年生。昭和40年山形大学工学部電気工学科卒業。同年三菱電機(株)入社。産業自動化用各種コントローラの開発・設計に従事。現在

に至る。



井下 雄右

昭和21年生。昭和46年早稲田大学理工学部卒業。同年三菱電機(株)入社。昭和48年米国ウェスチングハウス社へ留学。先端生産技術の開発に従事。現在に至る。技術士（経営工学部門）。